

# 小規模企業景気動向調査 [2024年6月期調査]

## ～依然として続くコスト高により、後退傾向が加速している小規模企業景況～

### <産業全体>

6月期の産業全体の景況は、売上額・業況DIが小幅に低下、採算・資金繰りDIはわずかに低下し、4月期から3期連続で全DIが低下した。特に売上額DIは、プラス値を維持しているものの、直近1年間で最も低いDIとなった。多くの業種において、人流の回復や、インバウンド需要の拡大等のプラス要因がある一方で、コスト高や消費者の節約志向等のマイナス要因の影響の方が大きい状況である。

DI	5月	6月	前月比
売上額	49	25	▲24
採算	▲172	▲177	▲05
資金繰り	▲14.7	▲16.4	▲1.7
業況	▲11.9	▲14.6	▲2.7

### <製造業(食料品、繊維、機械・金属)>価格転嫁に限界を感じている製造業

製造業は、業況DIがわずかに上昇したが、その他のDIは低下した。また、全業種にて前年同月比で売上額DIが低下した。

食料品関連は、前月から引き続き全DIが低下した。仕入単価・販管費の上昇に価格転嫁が追いつかないというコメントが増えており、特に資金繰りDIは大幅に低下した。機械・金属、繊維工業関連についても、価格転嫁に苦慮しているというコメントが多かったが、前月と同様に受注が回復傾向であるとのコメントも多く、採算・業況DIが上昇した。業種によって景況感に若干の差が見受けられるが、全体として苦しい状況である。

DI	5月	6月	前月比
売上額	8.3	4.4	▲3.9
採算	▲16.1	▲16.6	▲0.5
資金繰り	▲16.6	▲21.6	▲5.0
業況	▲13.3	▲12.7	0.6

### <建設業>需要の高まりに対して、歯がゆい状況が続く建設業

建設業は、売上額・採算・資金繰りDIが上昇したが、業況DIが大幅に低下した。

全国的な傾向として、民間工事については、新築価格の高騰から新築工事が減少しており、売り上げの増加が見込みづらいついコメントが多かった。また、工事等の引き合いはあるものの、資材価格・人件費の高騰から1件あたりの利益率が低下している状況である。さらに、利益率の低下を補填するため受注数を増やそうにも、人員がおらず断念している事業者が多い。

DI	5月	6月	前月比
売上額	▲26	▲0.9	1.7
採算	▲21.9	▲20.0	1.9
資金繰り	▲18.4	▲16.4	2.0
業況	▲15.8	▲24.5	▲8.7

### <小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>消費者の節約志向への対応策が問われている小売業

小売業は、売上額・採算・資金繰りDIがわずかに低下した。

衣料品・食料品関連は共に、全DIが低下した。どちらの業種においても、大手の販売店に価格面に対抗することは難しい中、特に生活必需品ではない衣料品については、節約志向の影響が大きく、販売が低迷している。一方、前月全DIが大幅に低下した耐久消費財関連については、全DIが上昇した。例年より早い記録的な猛暑の影響や、町等の消費喚起策の影響で、エアコン等の売上が伸びた。

DI	5月	6月	前月比
売上額	▲0.6	▲1.5	▲0.9
採算	▲22.2	▲22.9	▲0.7
資金繰り	▲18.3	▲19.2	▲0.9
業況	▲17.4	▲17.0	0.4

### <サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>旅館関連の不調から、苦しい状況が見えてきたサービス業

サービス業は、売上額DIが大幅に低下し、その他のDIは小幅に低下した。

旅館関連は全DIが大幅に低下した。前月からの低下要因としては、ゴールデンウィークの影響が大きく、前年同月比での低下要因としては、全国旅行支援が終了したことにより売り上げが低下したとのコメントがあった。クリーニング、理・美容関連については、固定客の多さから他業種と比較すると安定はしているが、依然として低い水準である。

DI	5月	6月	前月比
売上額	14.4	7.9	▲6.5
採算	▲8.8	▲11.0	▲2.2
資金繰り	▲5.5	▲8.5	▲3.0
業況	▲0.9	▲3.9	▲3.0

#### 調査概要

・調査対象：全国303商工会の経営指導員(有効回答数：241/回答率79.5%)

・調査時点：2024年6月末

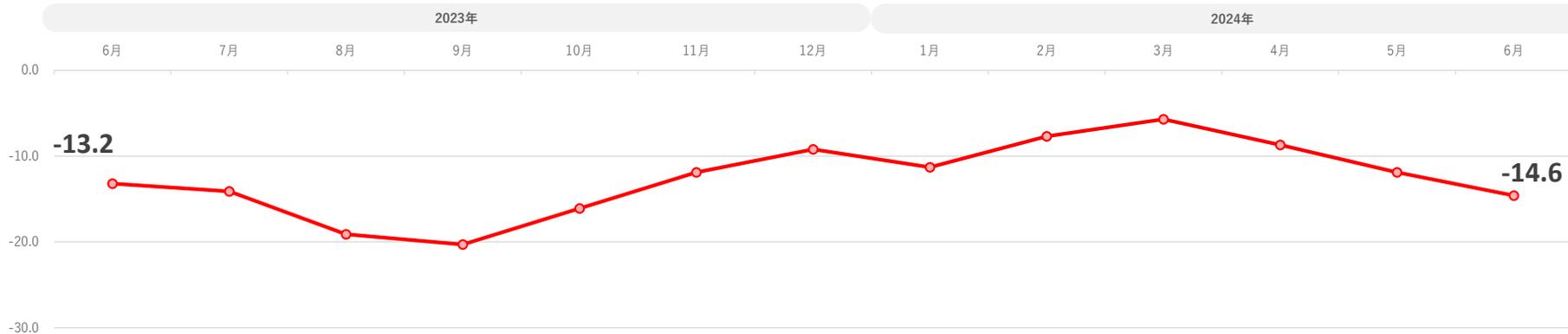
・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～



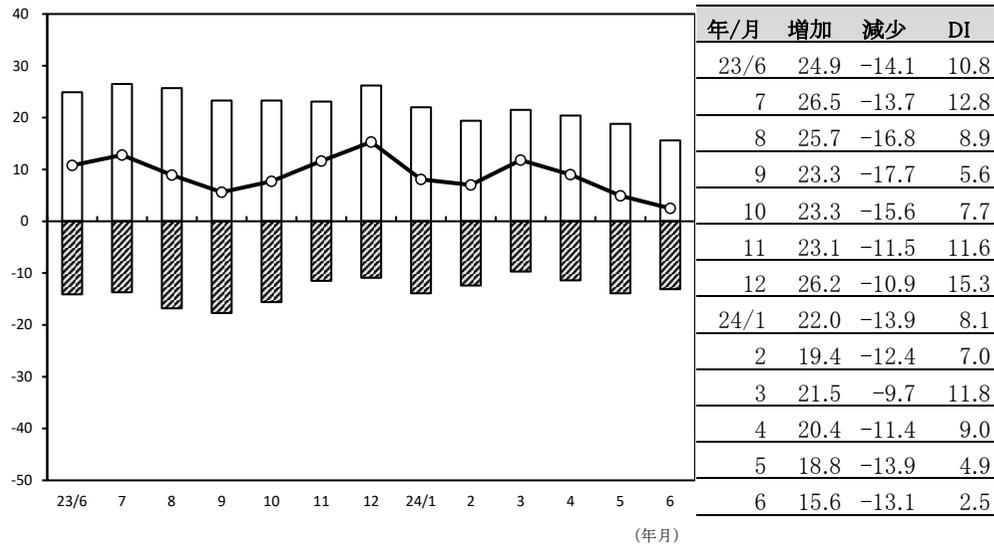
## 産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～



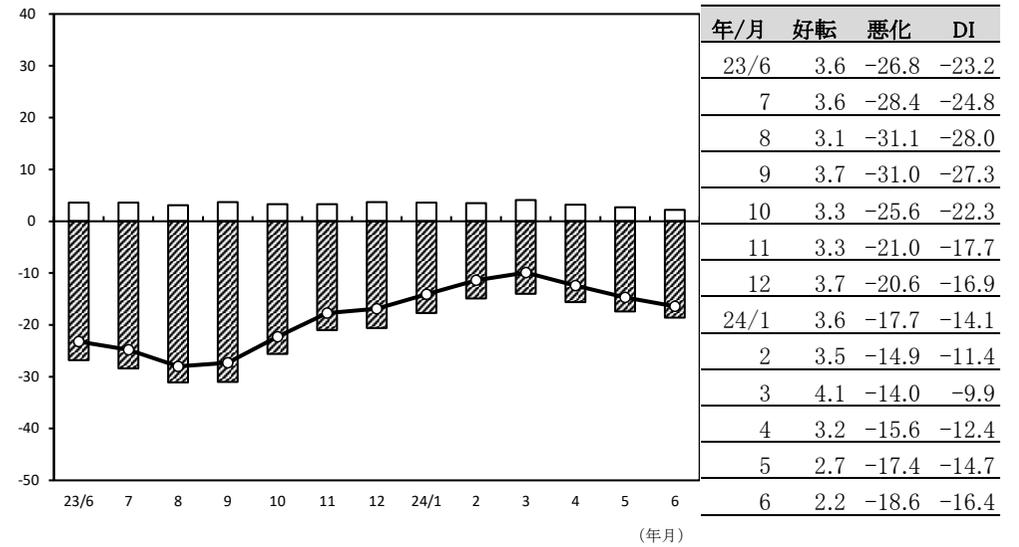
# 小規模企業景気動向調査(2024年6月期)

## 産業全体(前年同月比)

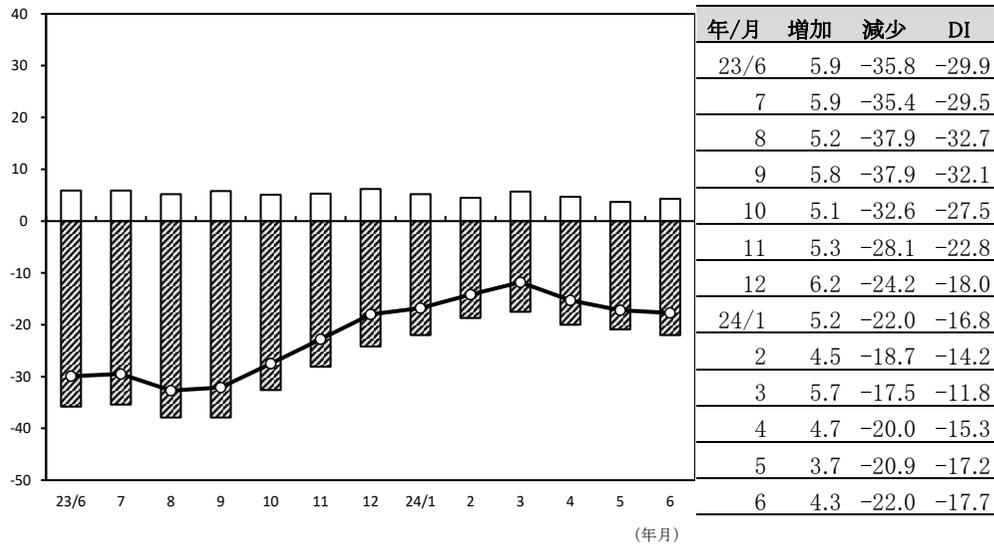
### 売上額



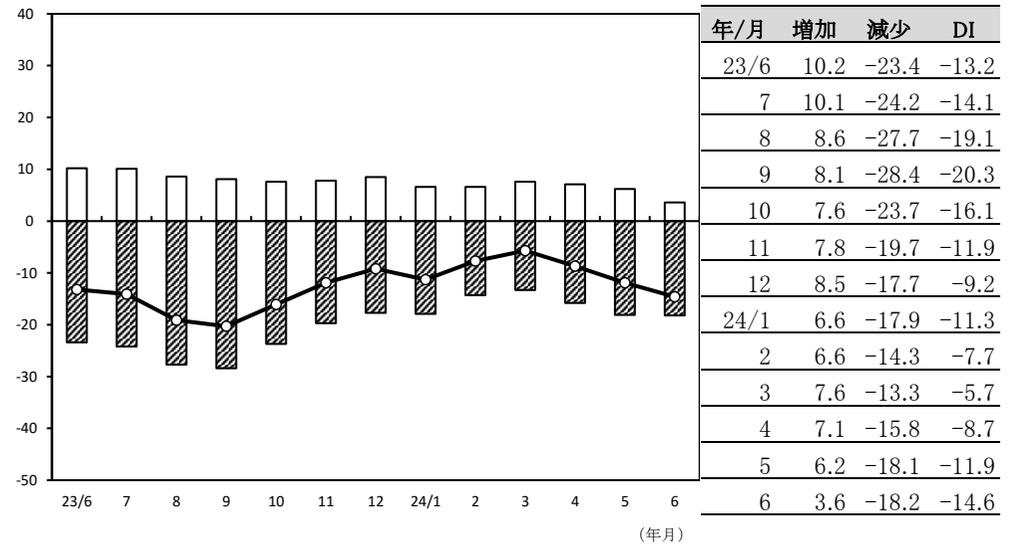
### 資金繰り



### 採算

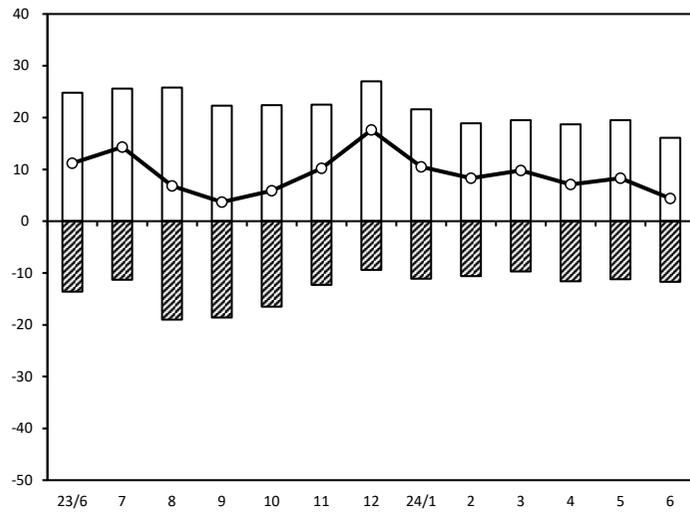


### 業界の業況



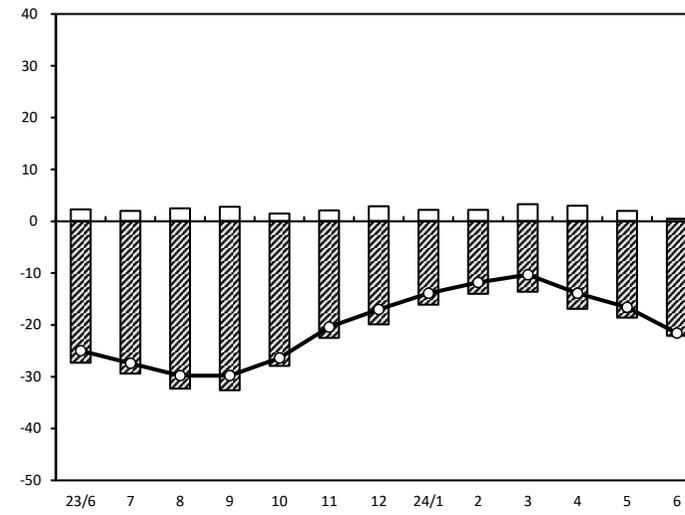
## 製 造 業(前年同月比)

### 売上額



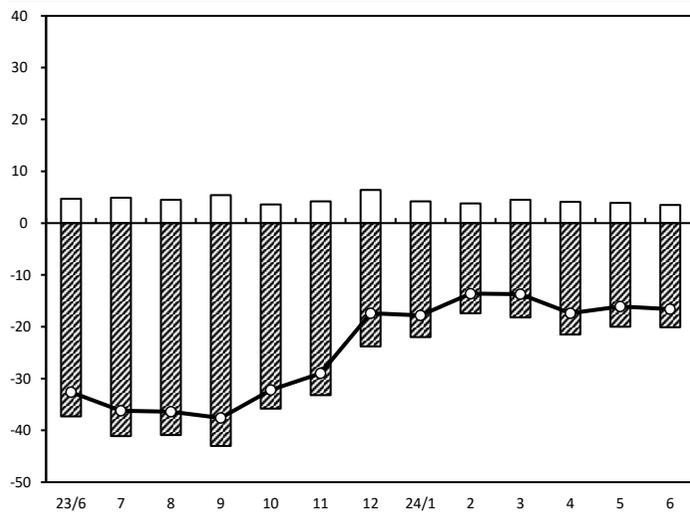
(年月)

### 資金繰り



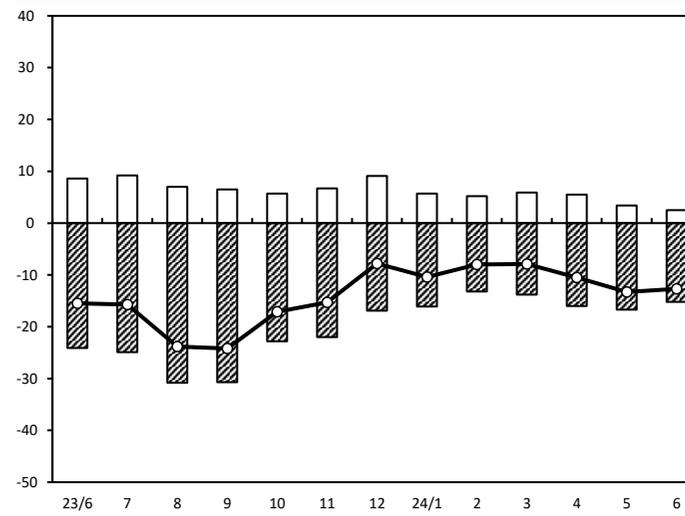
(年月)

### 採算



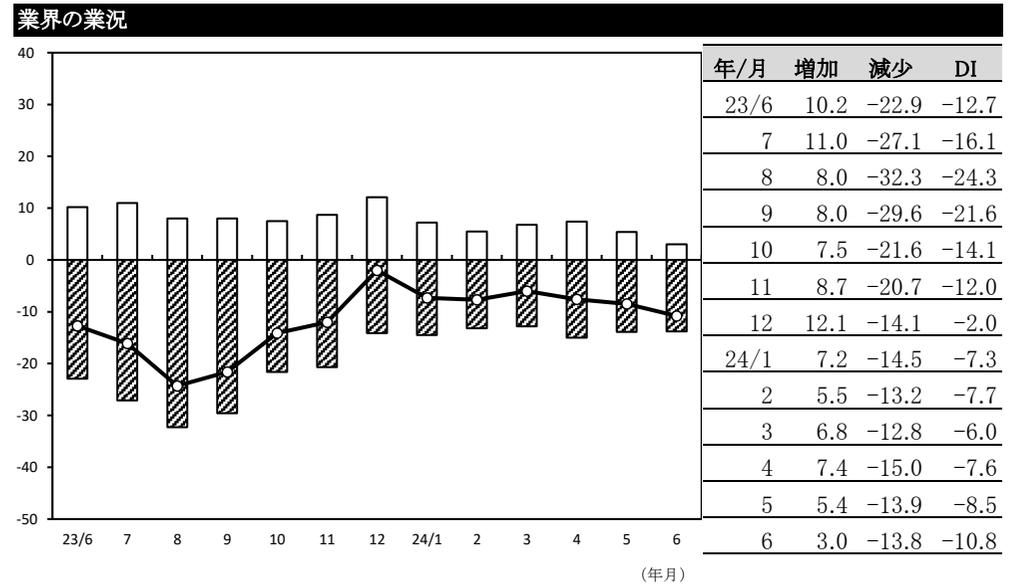
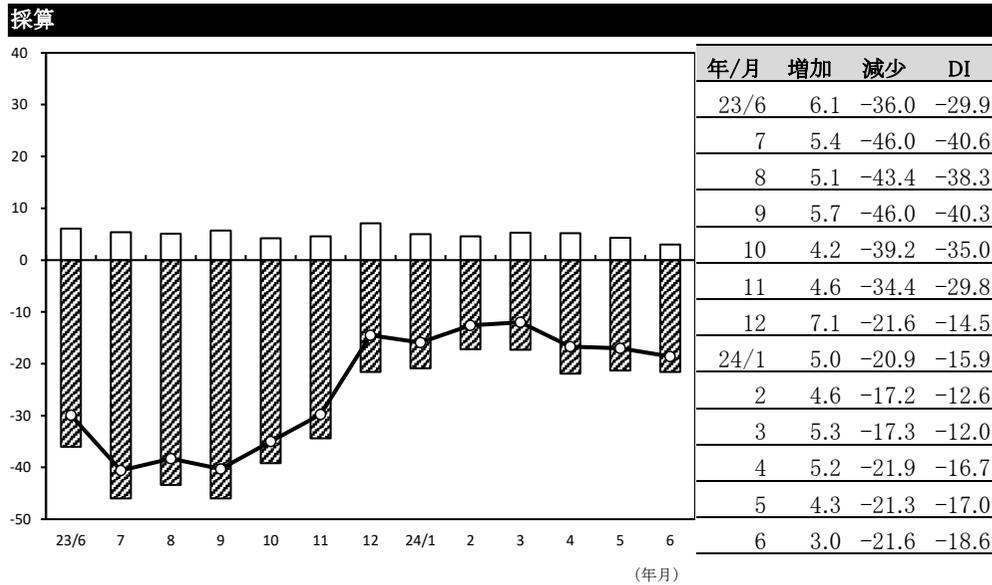
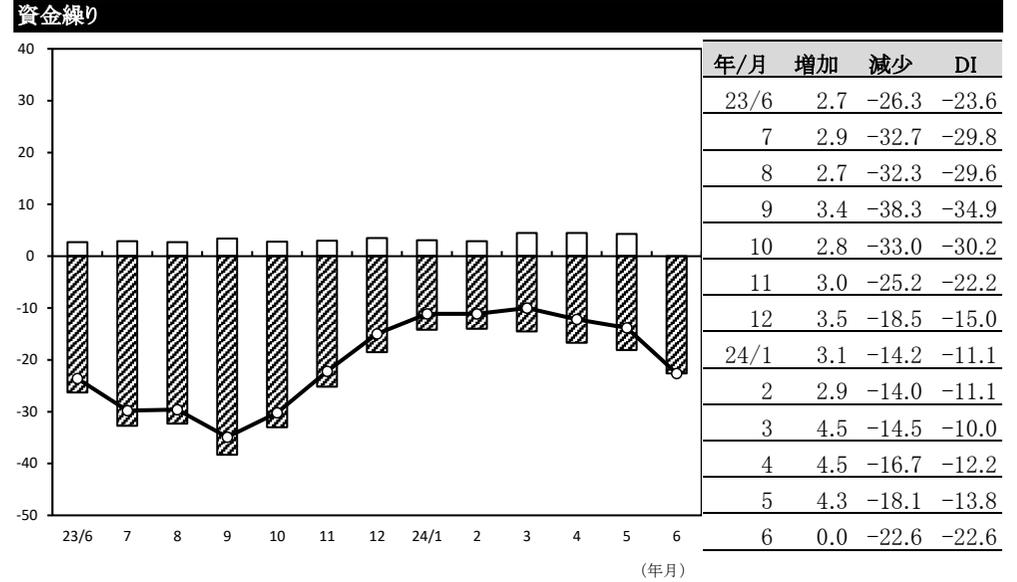
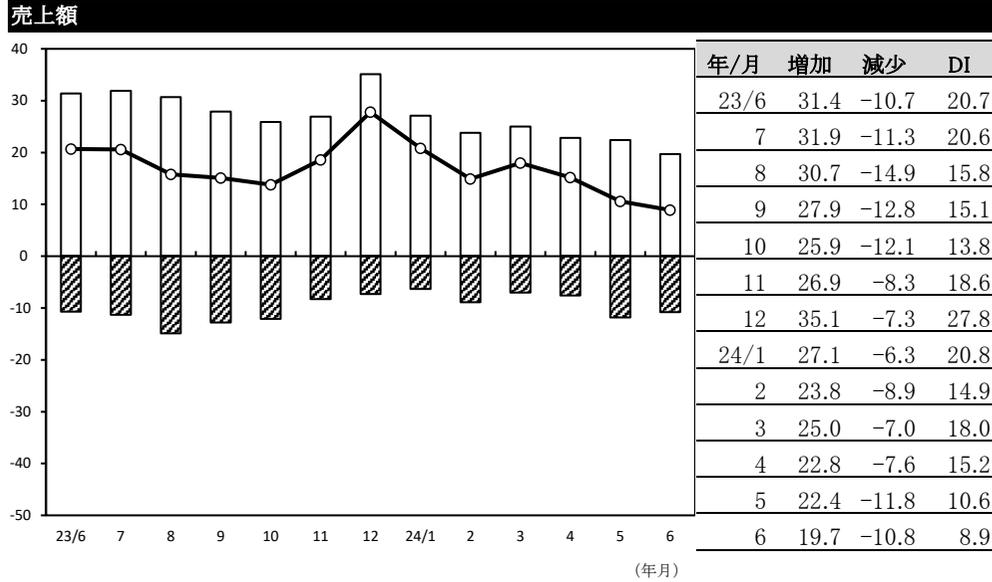
(年月)

### 業界の業況



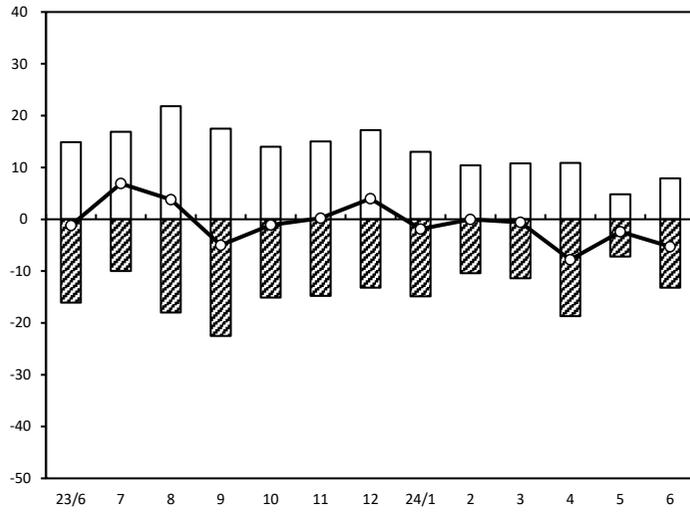
(年月)

# 製造業【食料品】（前年同月比）



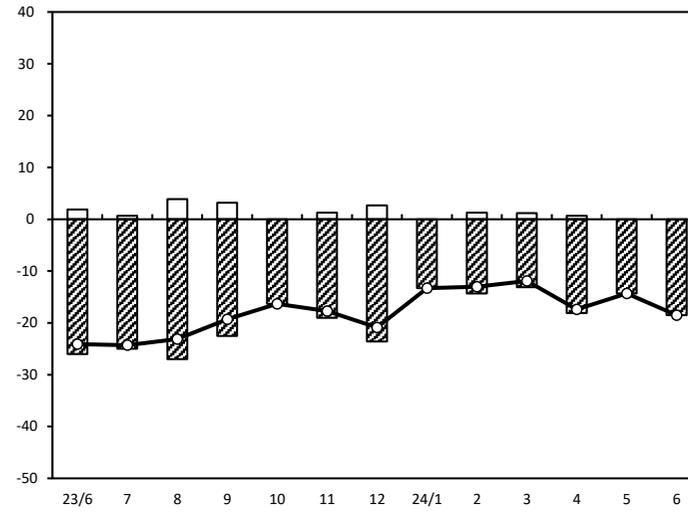
## 製 造 業【繊維】（前年同月比）

### 売上額



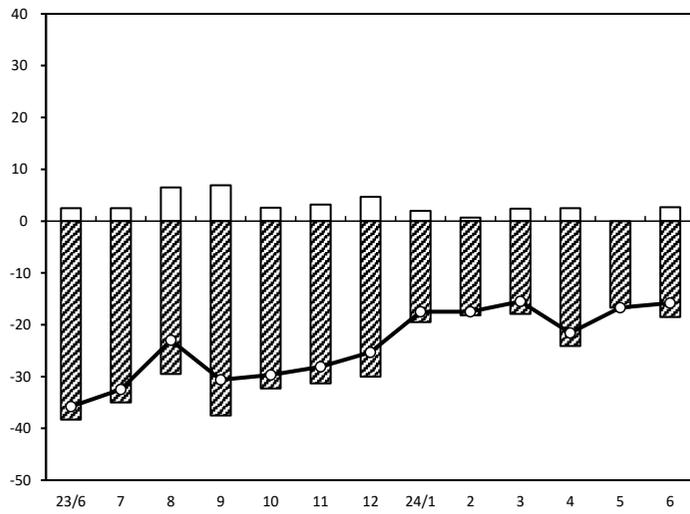
(年月)

### 資金繰り



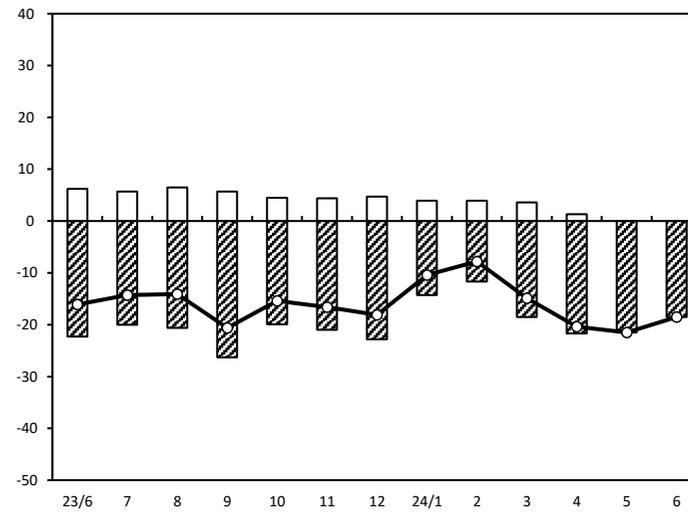
(年月)

### 採算



(年月)

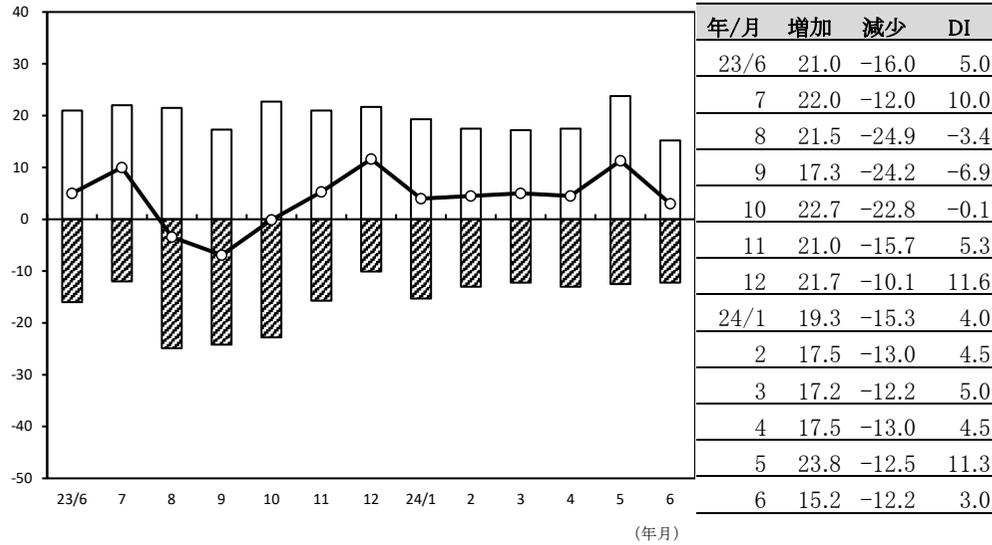
### 業界の業況



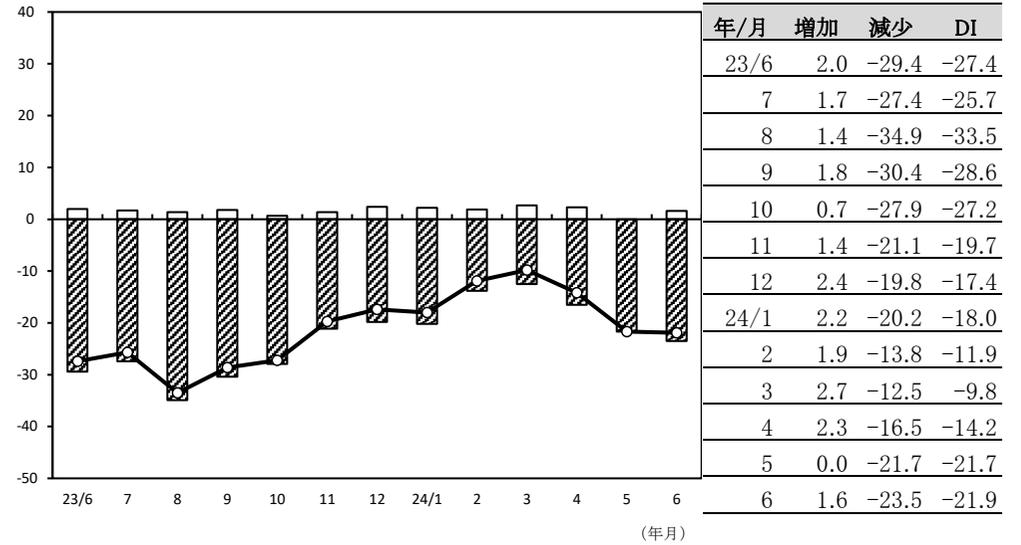
(年月)

## 製造業【機械・金属】（前年同月比）

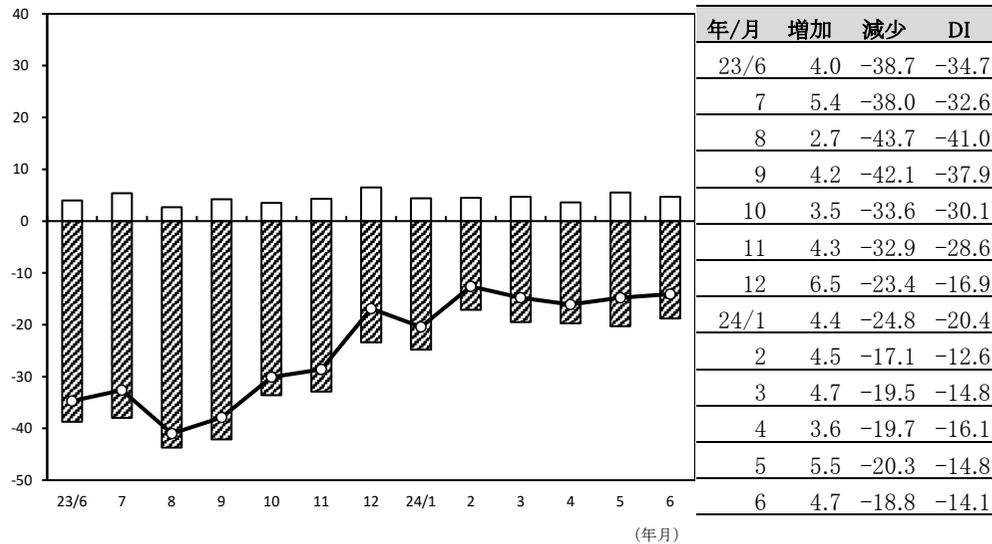
### 売上額



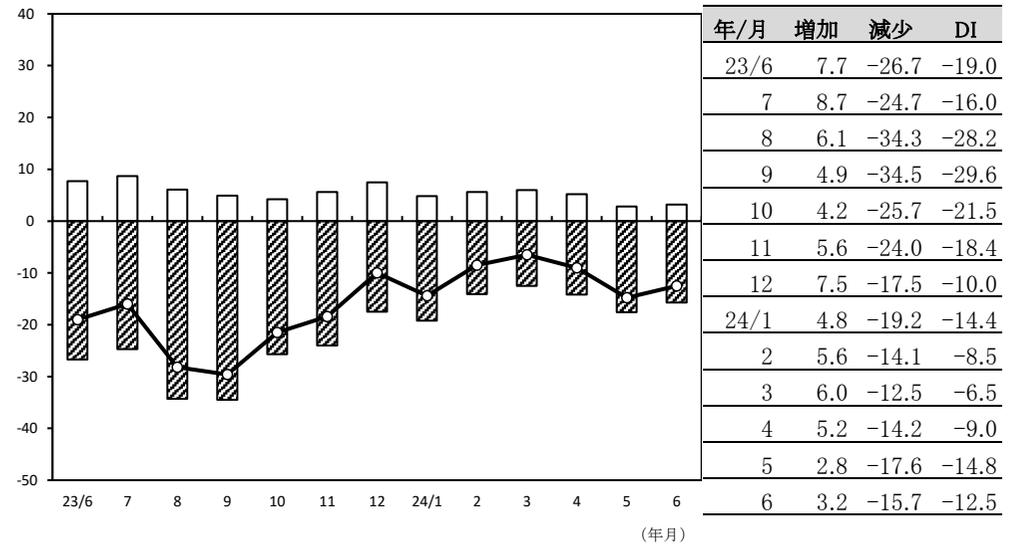
### 資金繰り



### 採算

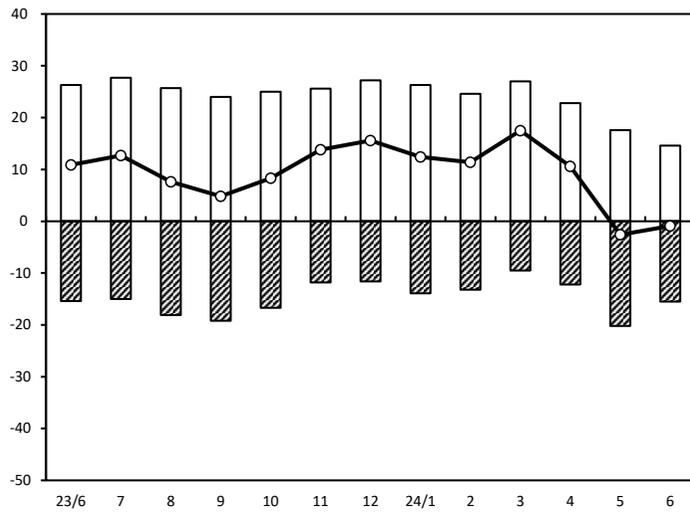


### 業界の業況



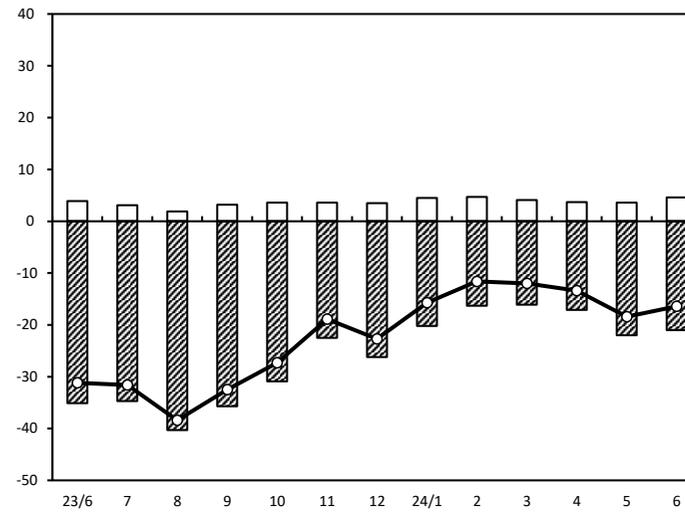
## 建設業(前年同月比)

### 売上額



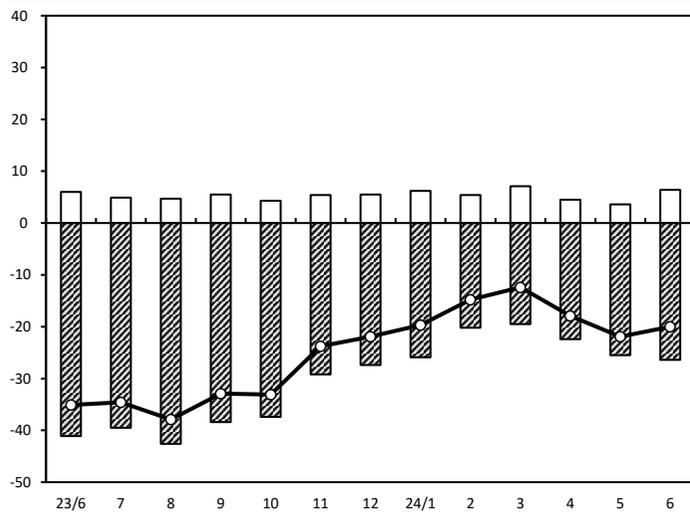
(年月)

### 資金繰り



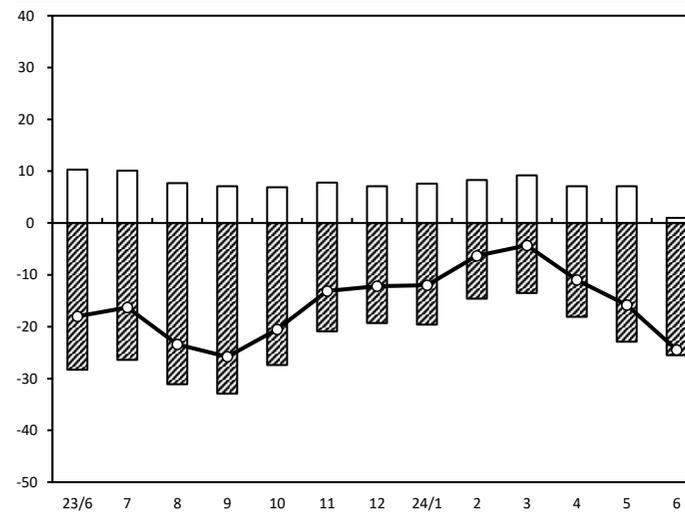
(年月)

### 採算



(年月)

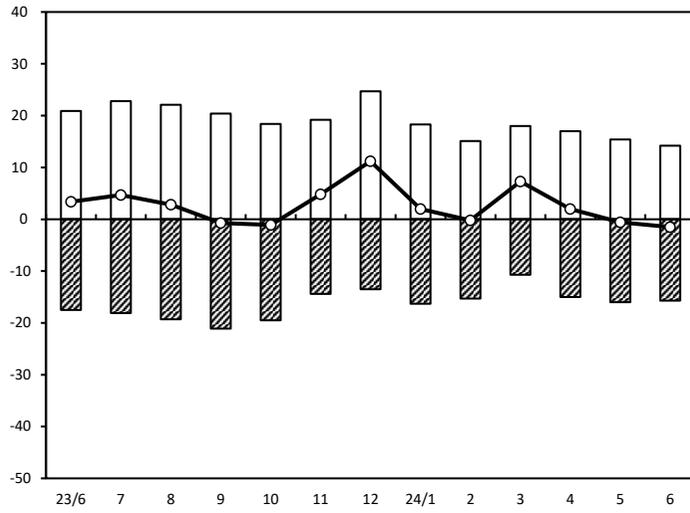
### 業界の業況



(年月)

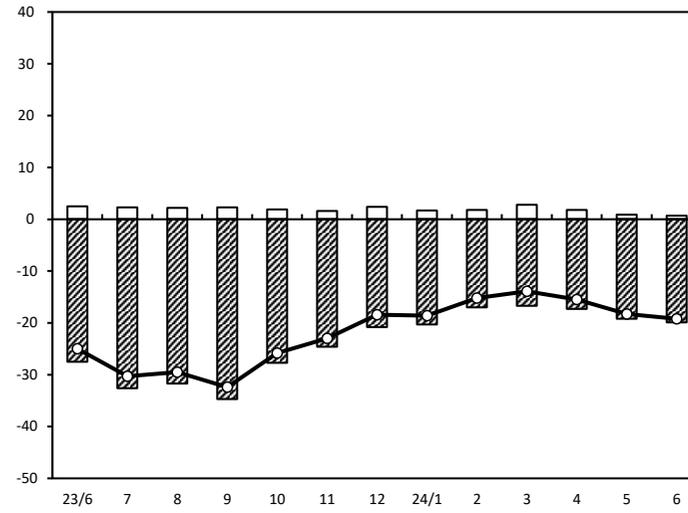
## 小 売 業(前年同月比)

### 売上額



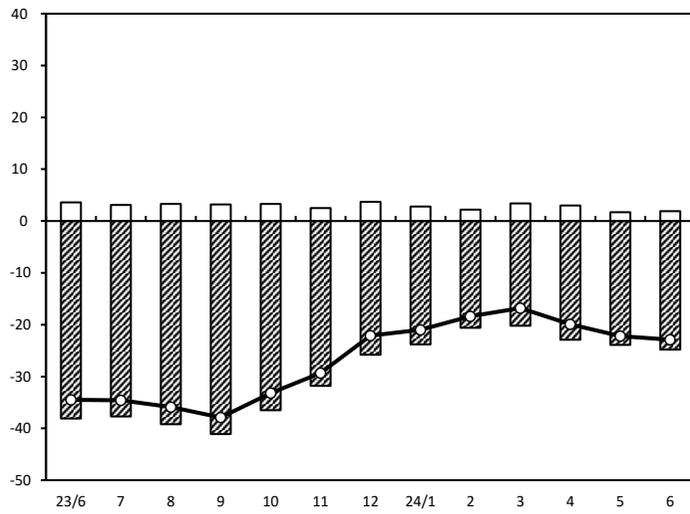
(年月)

### 資金繰り



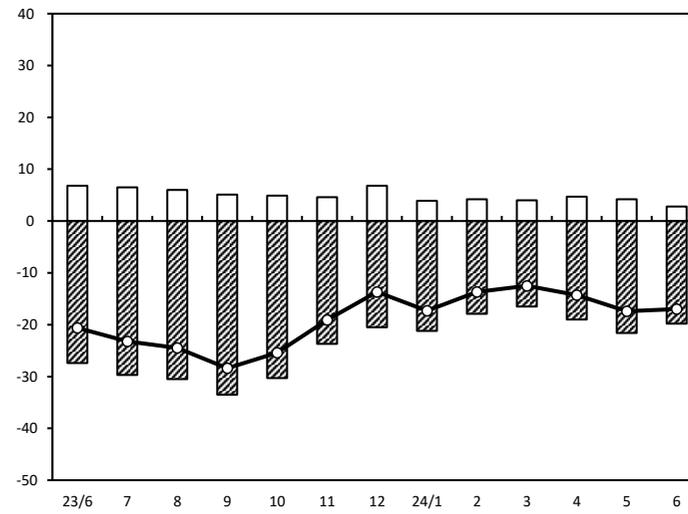
(年月)

### 採算



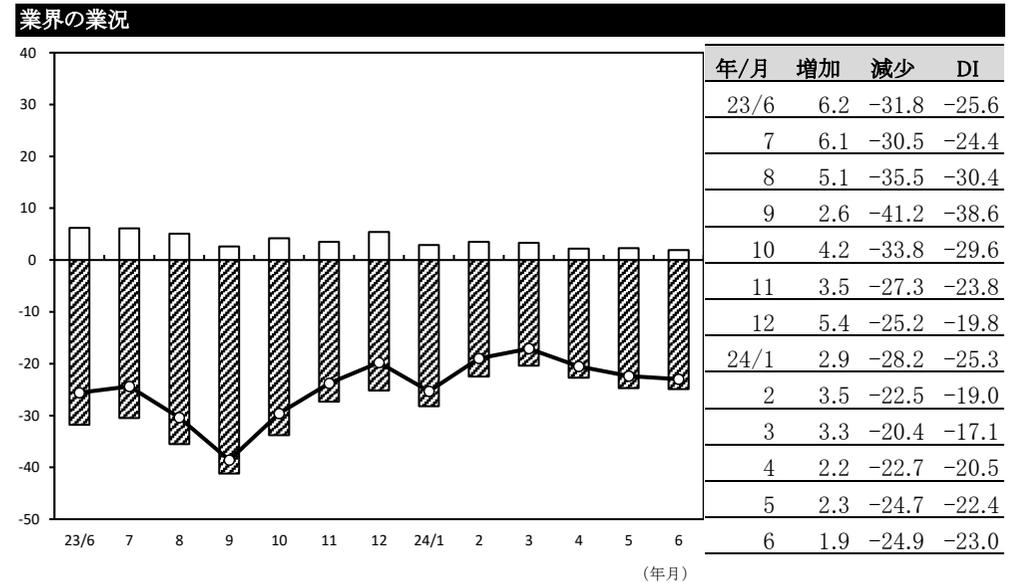
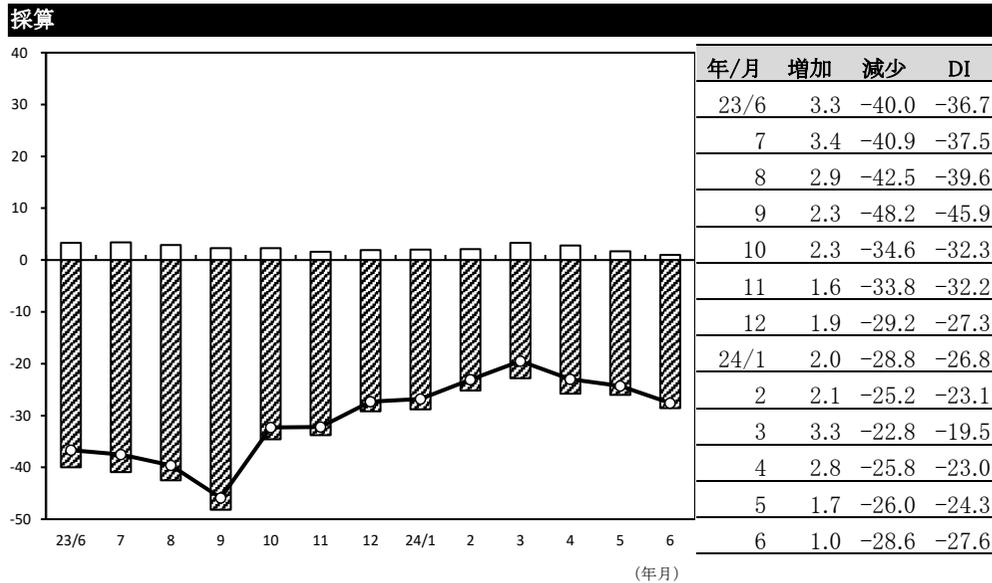
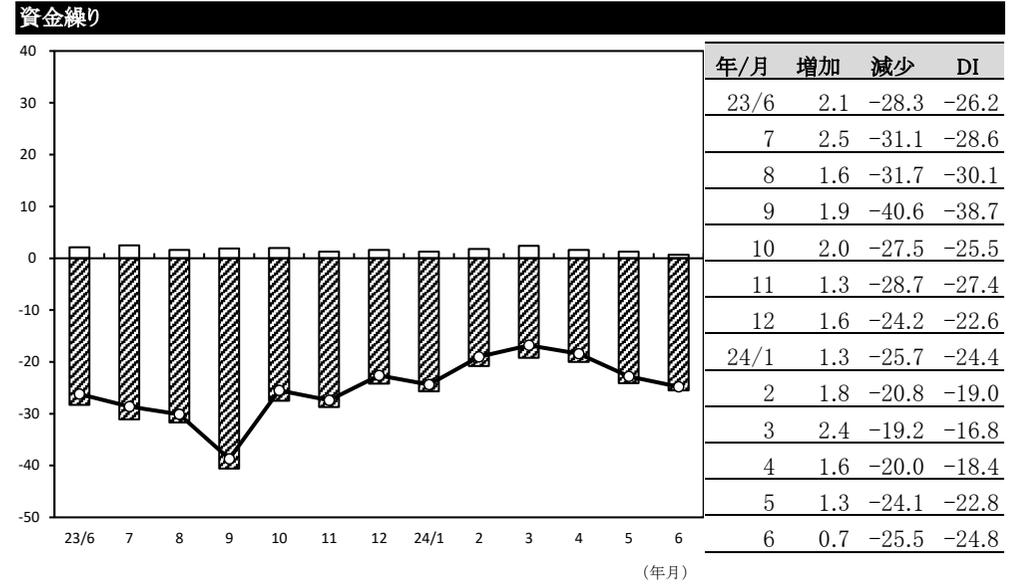
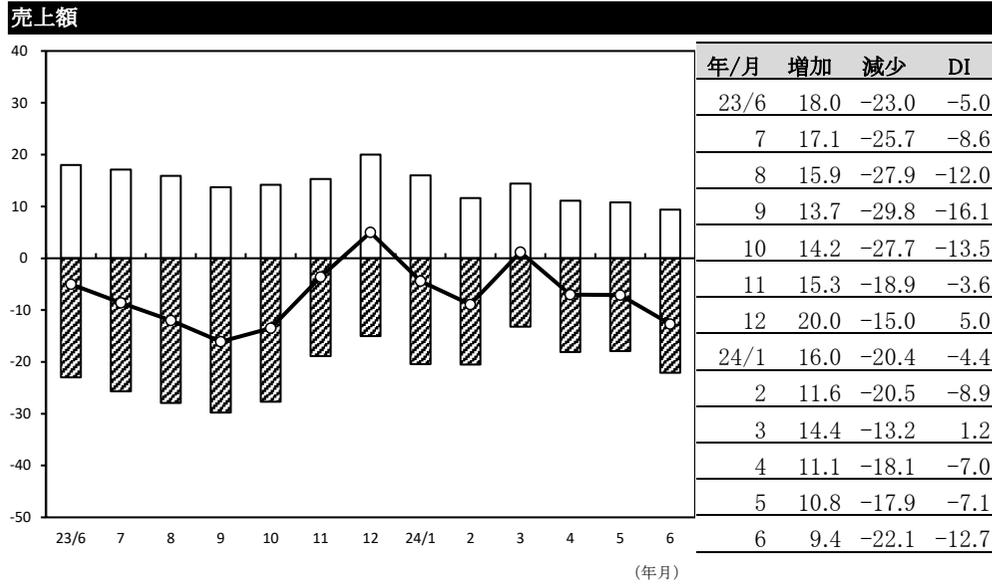
(年月)

### 業界の業況



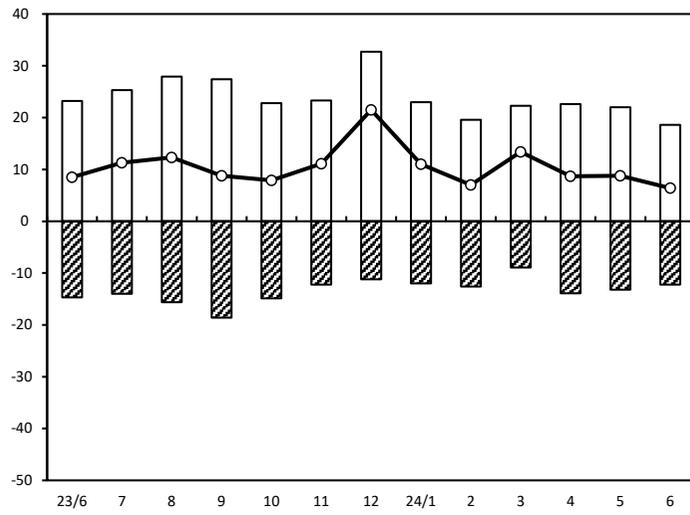
(年月)

## 小 売 業 【衣料品】（前年同月比）



## 小売業【食料品】（前年同月比）

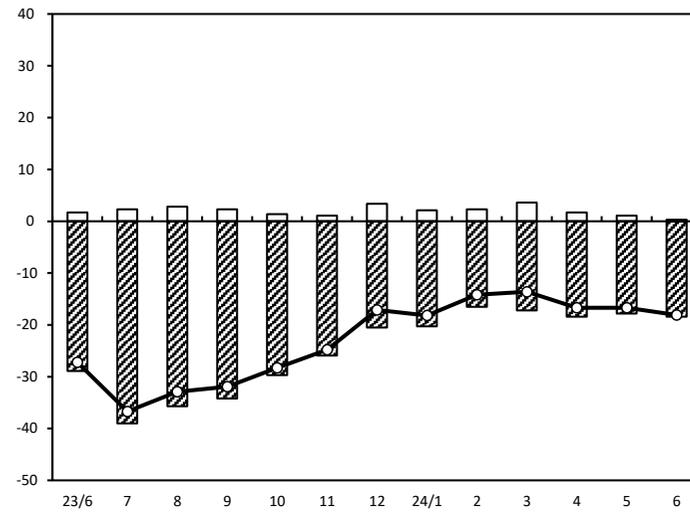
### 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/6	23.2	-14.7	8.5
7	25.3	-14.0	11.3
8	27.9	-15.6	12.3
9	27.4	-18.6	8.8
10	22.8	-14.9	7.9
11	23.3	-12.2	11.1
12	32.7	-11.2	21.5
24/1	23.0	-12.0	11.0
2	19.6	-12.6	7.0
3	22.3	-8.9	13.4
4	22.6	-13.9	8.7
5	22.0	-13.2	8.8
6	18.6	-12.2	6.4

(年月)

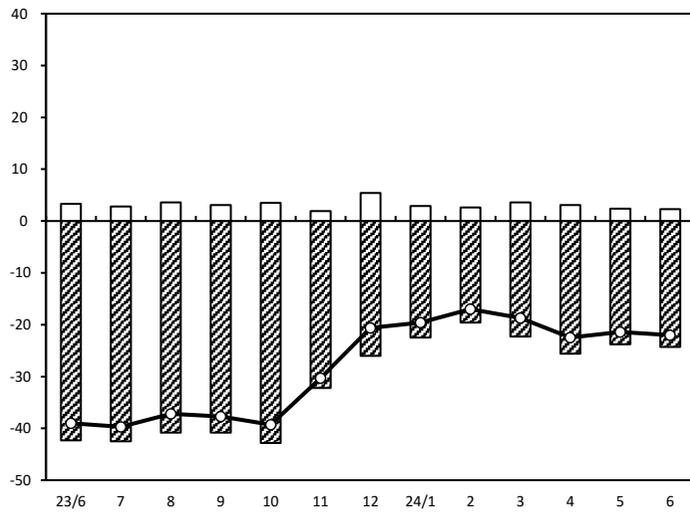
### 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/6	1.7	-28.9	-27.2
7	2.3	-39.0	-36.7
8	2.8	-35.7	-32.9
9	2.3	-34.2	-31.9
10	1.4	-29.7	-28.3
11	1.1	-25.9	-24.8
12	3.4	-20.5	-17.1
24/1	2.1	-20.3	-18.2
2	2.3	-16.5	-14.2
3	3.6	-17.2	-13.6
4	1.7	-18.4	-16.7
5	1.1	-17.8	-16.7
6	0.3	-18.4	-18.1

(年月)

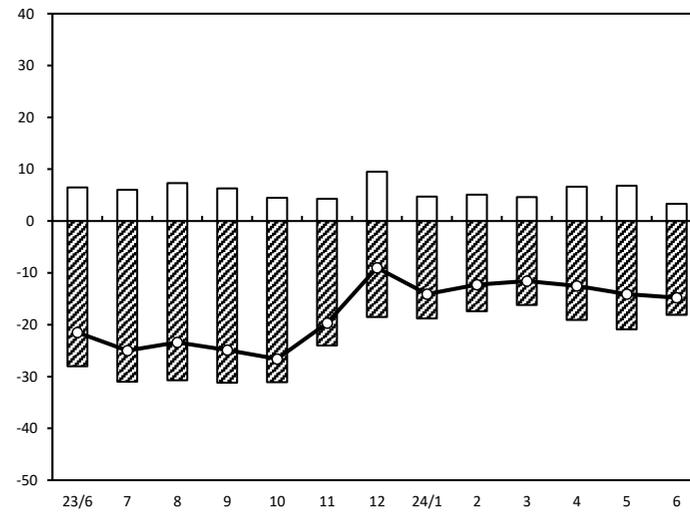
### 採算



年/月	増加	減少	DI
23/6	3.3	-42.3	-39.0
7	2.8	-42.5	-39.7
8	3.6	-40.8	-37.2
9	3.1	-40.8	-37.7
10	3.5	-42.8	-39.3
11	1.9	-32.2	-30.3
12	5.4	-26.0	-20.6
24/1	2.9	-22.5	-19.6
2	2.6	-19.6	-17.0
3	3.6	-22.3	-18.7
4	3.1	-25.6	-22.5
5	2.4	-23.8	-21.4
6	2.3	-24.3	-22.0

(年月)

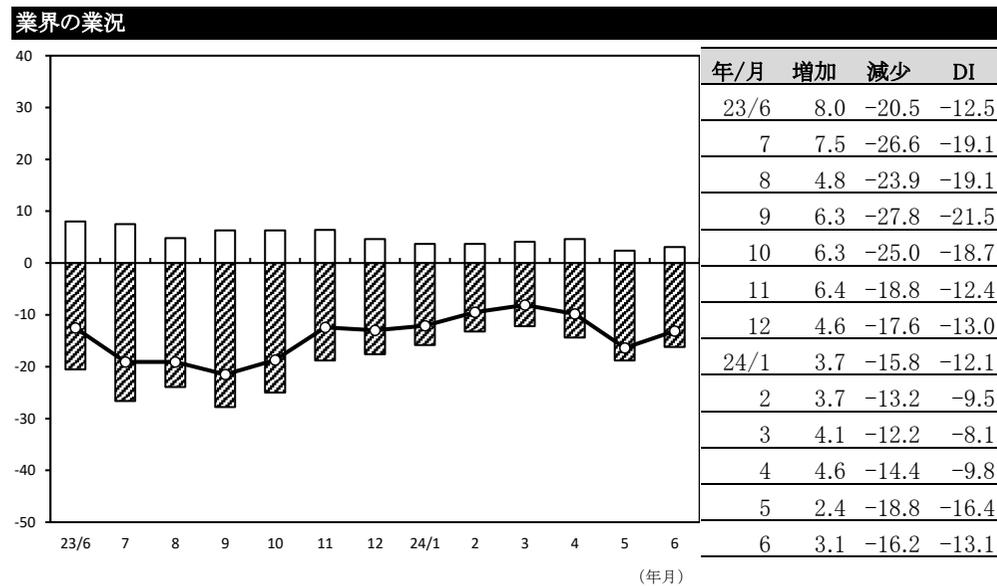
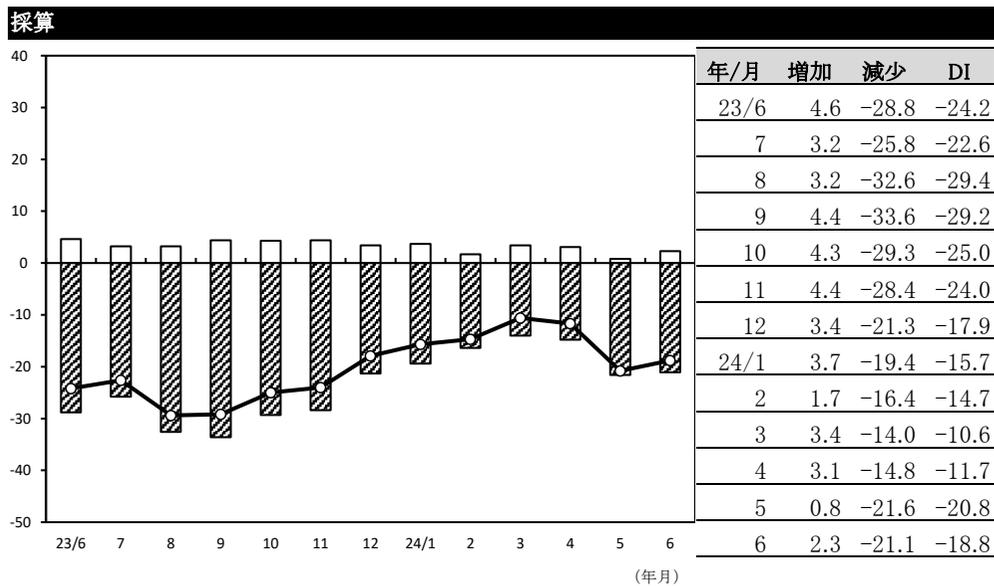
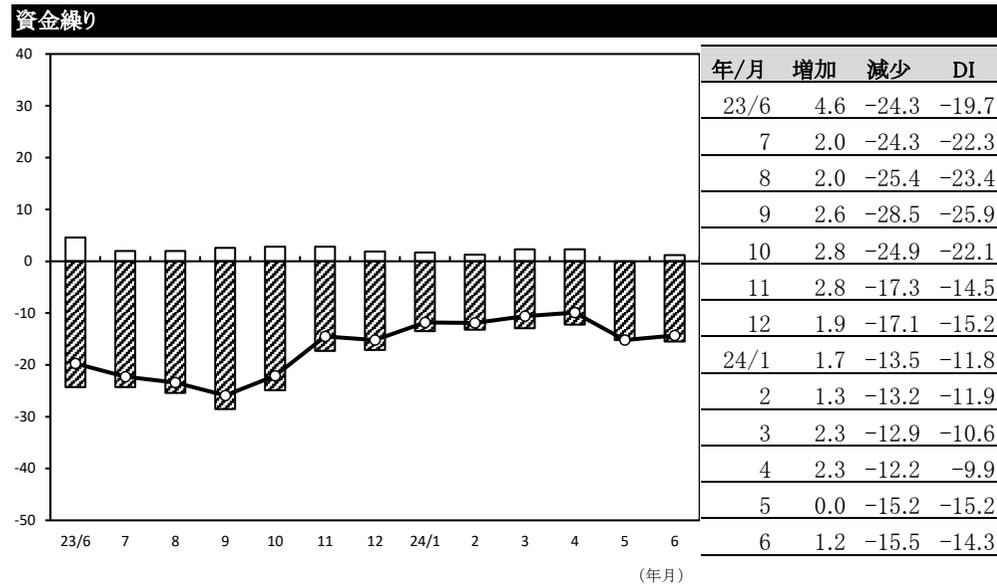
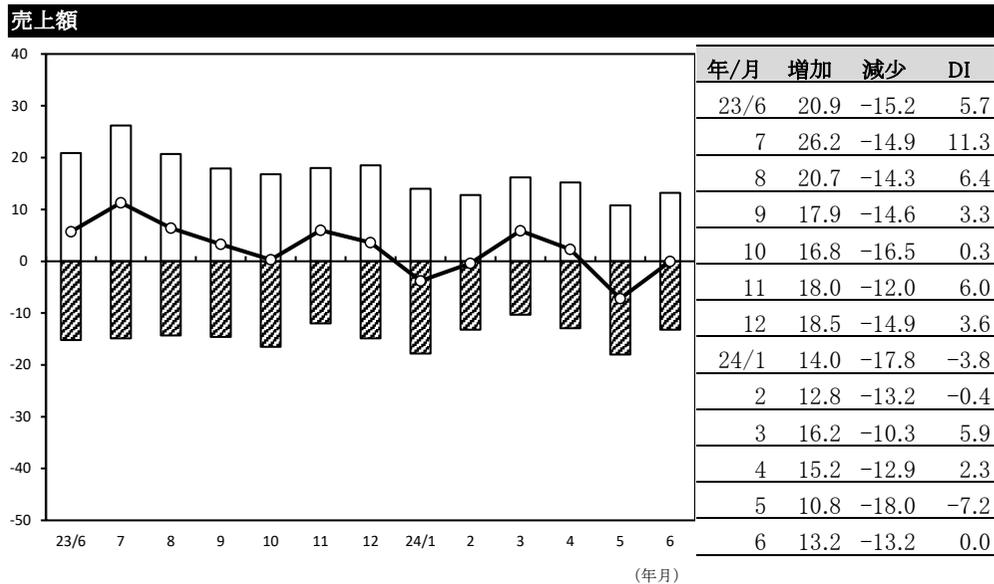
### 業界の業況



年/月	増加	減少	DI
23/6	6.5	-28.0	-21.5
7	6.0	-31.0	-25.0
8	7.3	-30.7	-23.4
9	6.3	-31.2	-24.9
10	4.5	-31.1	-26.6
11	4.3	-24.0	-19.7
12	9.5	-18.5	-9.0
24/1	4.7	-18.8	-14.1
2	5.1	-17.4	-12.3
3	4.6	-16.2	-11.6
4	6.6	-19.1	-12.5
5	6.8	-20.9	-14.1
6	3.3	-18.1	-14.8

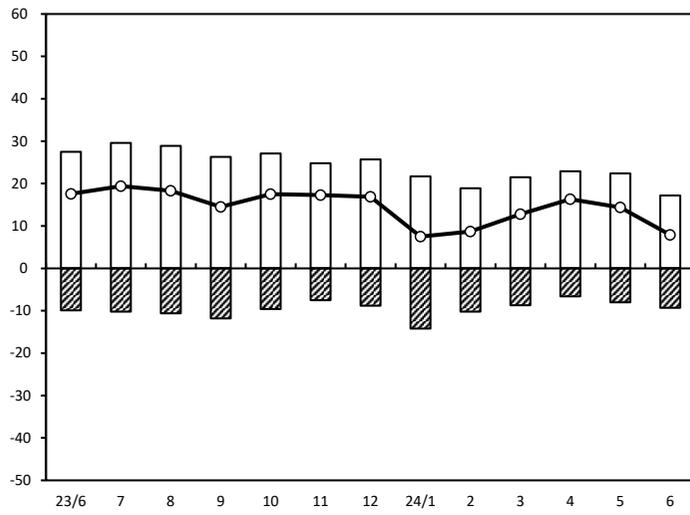
(年月)

## 小 売 業 【耐久消費財】（前年同月比）



## サービス業(前年同月比)

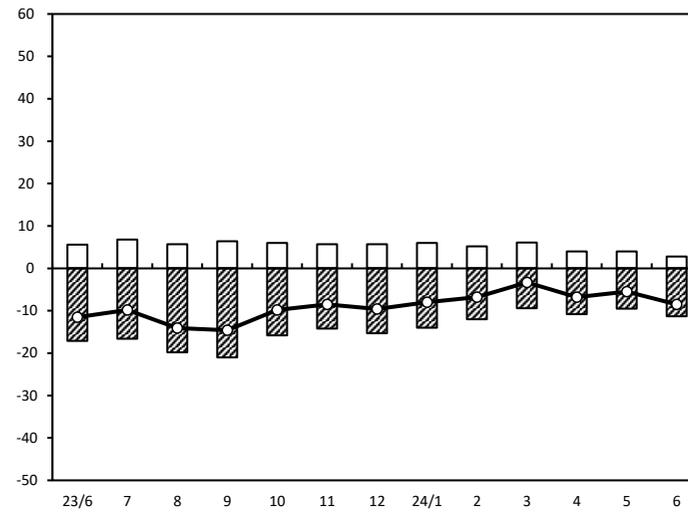
### 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/6	27.5	-9.9	17.6
7	29.6	-10.2	19.4
8	28.9	-10.6	18.3
9	26.3	-11.8	14.5
10	27.1	-9.6	17.5
11	24.8	-7.5	17.3
12	25.7	-8.8	16.9
24/1	21.7	-14.2	7.5
2	18.9	-10.2	8.7
3	21.5	-8.7	12.8
4	22.9	-6.6	16.3
5	22.4	-8.0	14.4
6	17.2	-9.3	7.9

(年月)

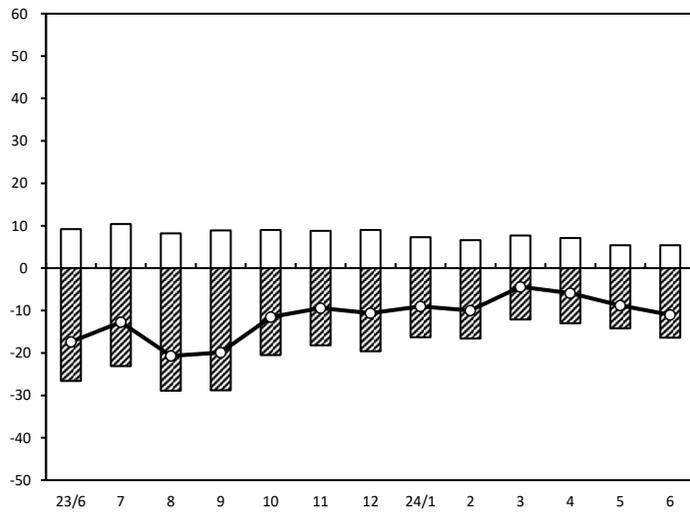
### 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/6	5.6	-17.1	-11.5
7	6.8	-16.6	-9.8
8	5.7	-19.8	-14.1
9	6.4	-21.0	-14.6
10	6.0	-15.8	-9.8
11	5.7	-14.2	-8.5
12	5.7	-15.3	-9.6
24/1	6.0	-14.0	-8.0
2	5.2	-12.0	-6.8
3	6.1	-9.4	-3.3
4	4.0	-10.8	-6.8
5	4.0	-9.5	-5.5
6	2.8	-11.3	-8.5

(年月)

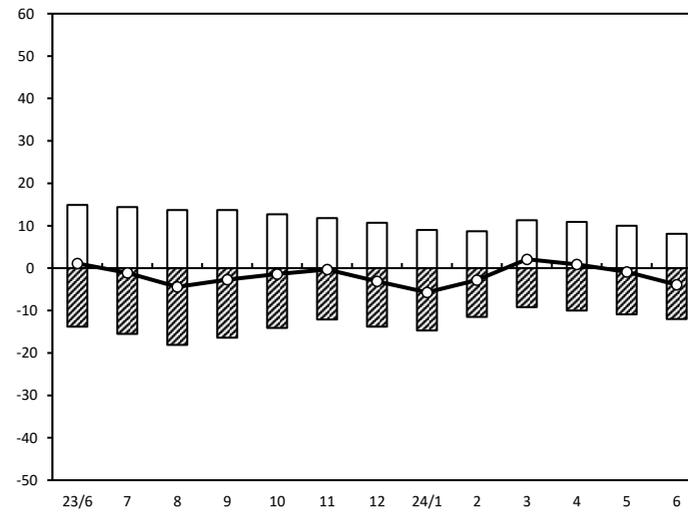
### 採算



年/月	増加	減少	DI
23/6	9.2	-26.6	-17.4
7	10.4	-23.1	-12.7
8	8.2	-28.9	-20.7
9	8.9	-28.8	-19.9
10	9.0	-20.5	-11.5
11	8.8	-18.2	-9.4
12	9.0	-19.6	-10.6
24/1	7.3	-16.3	-9.0
2	6.6	-16.6	-10.0
3	7.7	-12.1	-4.4
4	7.1	-13.0	-5.9
5	5.4	-14.2	-8.8
6	5.4	-16.4	-11.0

(年月)

### 業界の業況

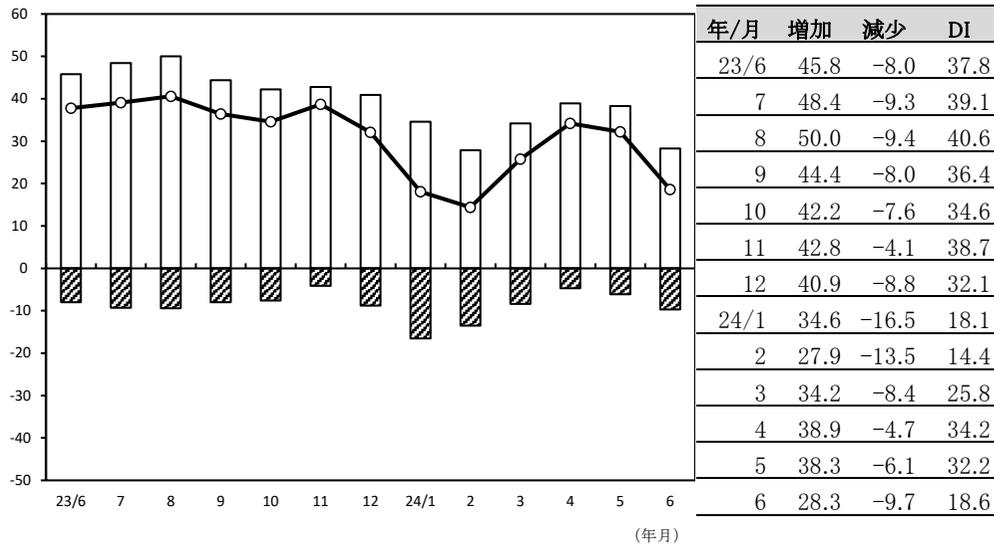


年/月	増加	減少	DI
23/6	14.9	-13.8	1.1
7	14.4	-15.5	-1.1
8	13.7	-18.1	-4.4
9	13.7	-16.4	-2.7
10	12.7	-14.1	-1.4
11	11.8	-12.1	-0.3
12	10.7	-13.8	-3.1
24/1	9.0	-14.7	-5.7
2	8.7	-11.5	-2.8
3	11.3	-9.2	2.1
4	10.9	-10.0	0.9
5	10.0	-10.9	-0.9
6	8.1	-12.0	-3.9

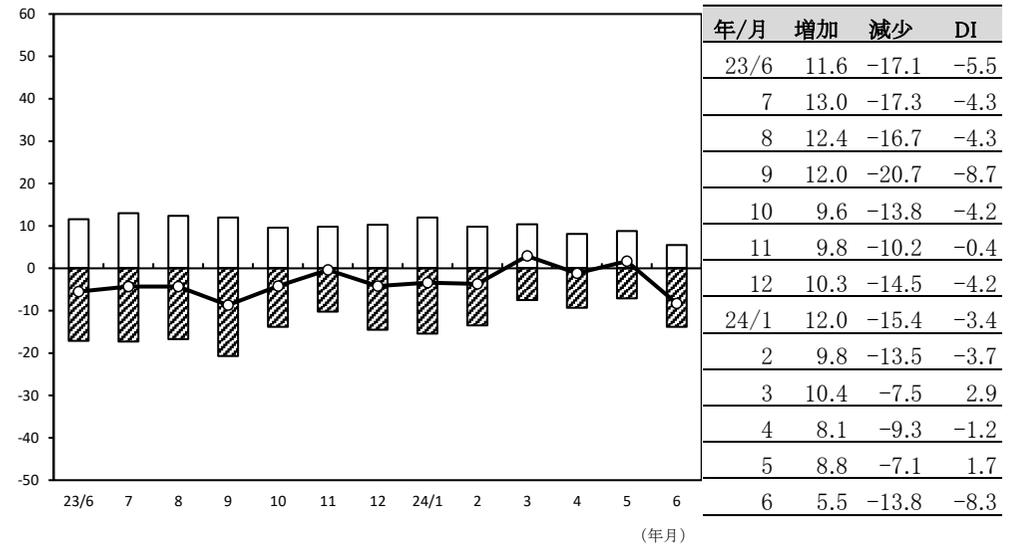
(年月)

## サービス業【旅館】（前年同月比）

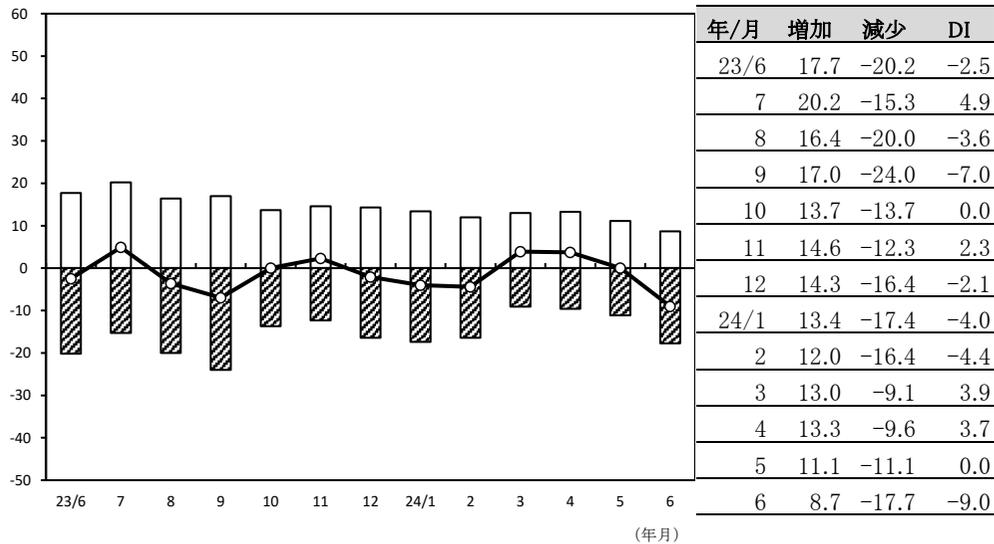
### 売上額



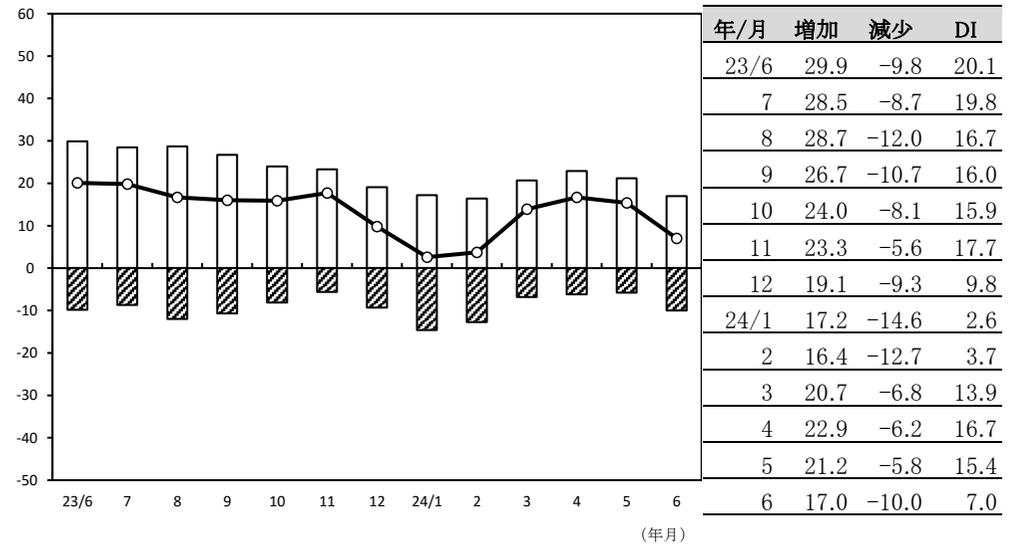
### 資金繰り



### 採算

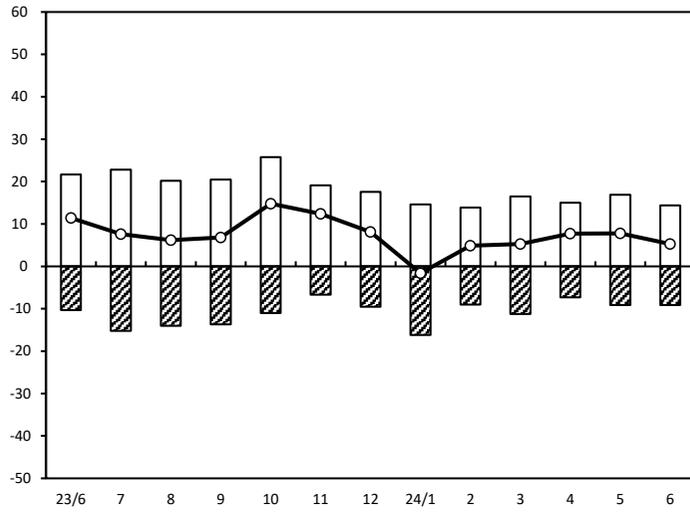


### 業界の業況



## サービス業【クリーニング】（前年同月比）

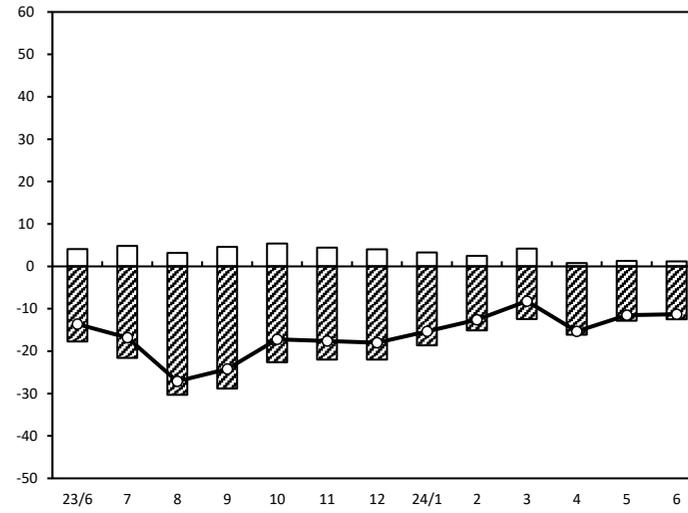
### 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/6	21.7	-10.3	11.4
7	22.8	-15.2	7.6
8	20.2	-14.0	6.2
9	20.5	-13.7	6.8
10	25.8	-11.0	14.8
11	19.1	-6.7	12.4
12	17.6	-9.5	8.1
24/1	14.6	-16.2	-1.6
2	13.9	-9.0	4.9
3	16.5	-11.2	5.3
4	15.0	-7.3	7.7
5	16.9	-9.1	7.8
6	14.4	-9.1	5.3

(年月)

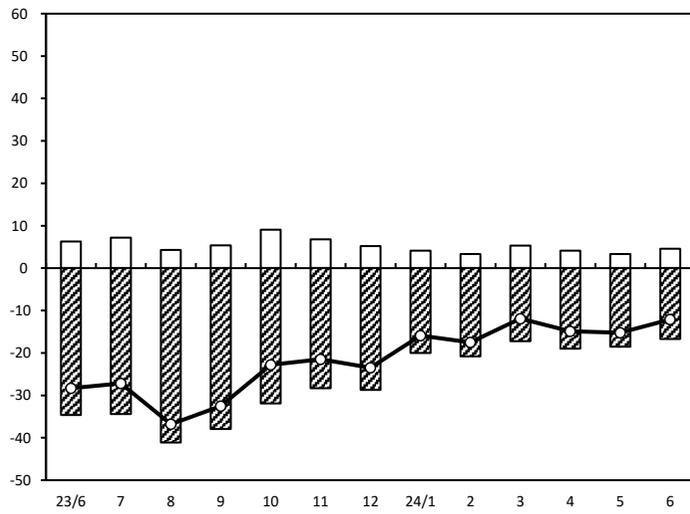
### 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/6	4.1	-17.7	-13.6
7	4.8	-21.6	-16.8
8	3.2	-30.3	-27.1
9	4.6	-28.8	-24.2
10	5.4	-22.6	-17.2
11	4.4	-22.0	-17.6
12	4.0	-22.0	-18.0
24/1	3.3	-18.6	-15.3
2	2.5	-15.1	-12.6
3	4.2	-12.4	-8.2
4	0.8	-16.1	-15.3
5	1.3	-12.8	-11.5
6	1.2	-12.5	-11.3

(年月)

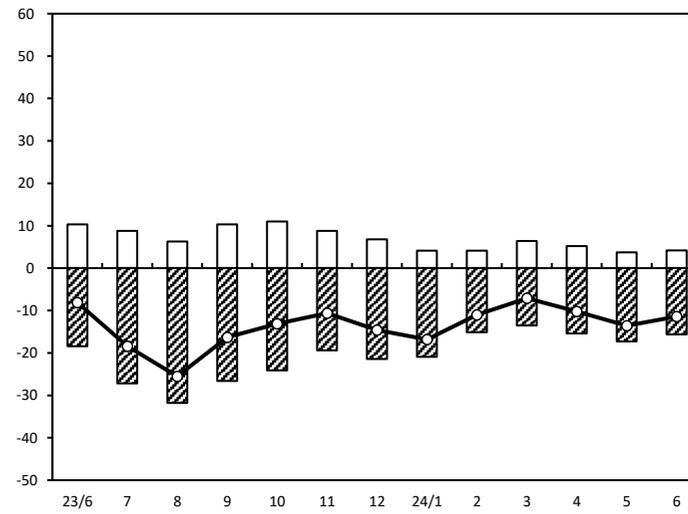
### 採算



年/月	増加	減少	DI
23/6	6.3	-34.6	-28.3
7	7.2	-34.4	-27.2
8	4.3	-41.1	-36.8
9	5.4	-37.9	-32.5
10	9.1	-31.9	-22.8
11	6.8	-28.3	-21.5
12	5.2	-28.7	-23.5
24/1	4.1	-20.0	-15.9
2	3.3	-20.8	-17.5
3	5.3	-17.2	-11.9
4	4.1	-19.0	-14.9
5	3.3	-18.5	-15.2
6	4.6	-16.7	-12.1

(年月)

### 業界の業況

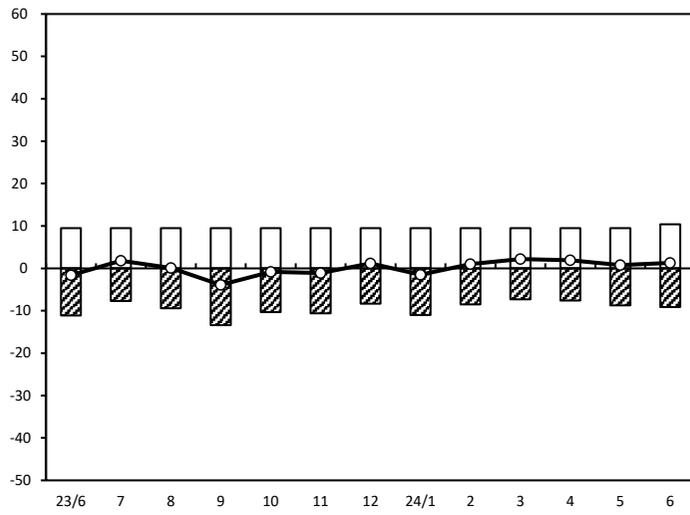


年/月	増加	減少	DI
23/6	10.3	-18.4	-8.1
7	8.8	-27.2	-18.4
8	6.3	-31.8	-25.5
9	10.3	-26.6	-16.3
10	11.0	-24.1	-13.1
11	8.8	-19.4	-10.6
12	6.8	-21.4	-14.6
24/1	4.1	-20.9	-16.8
2	4.1	-15.1	-11.0
3	6.4	-13.5	-7.1
4	5.2	-15.4	-10.2
5	3.7	-17.3	-13.6
6	4.2	-15.6	-11.4

(年月)

## サービス業【理・美容】（前年同月比）

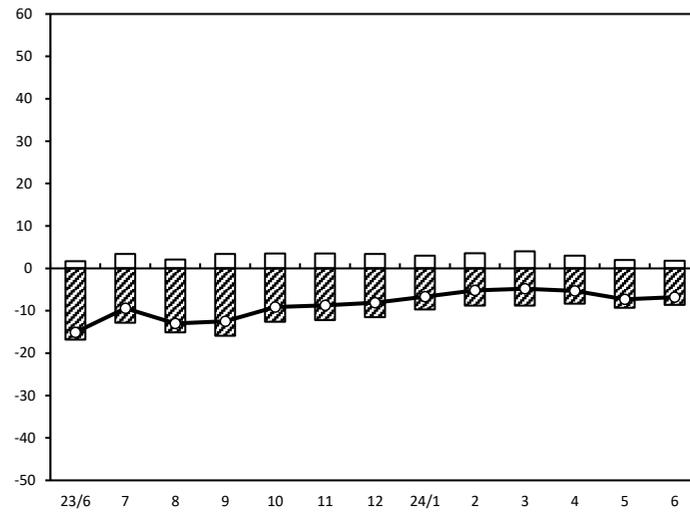
### 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/6	9.5	-11.1	-1.6
7	9.5	-7.7	1.8
8	9.5	-9.4	0.1
9	9.5	-13.4	-3.9
10	9.5	-10.3	-0.8
11	9.5	-10.6	-1.1
12	9.5	-8.3	1.2
24/1	9.5	-11.0	-1.5
2	9.5	-8.5	1.0
3	9.5	-7.3	2.2
4	9.5	-7.6	1.9
5	9.5	-8.7	0.8
6	10.4	-9.1	1.3

(年月)

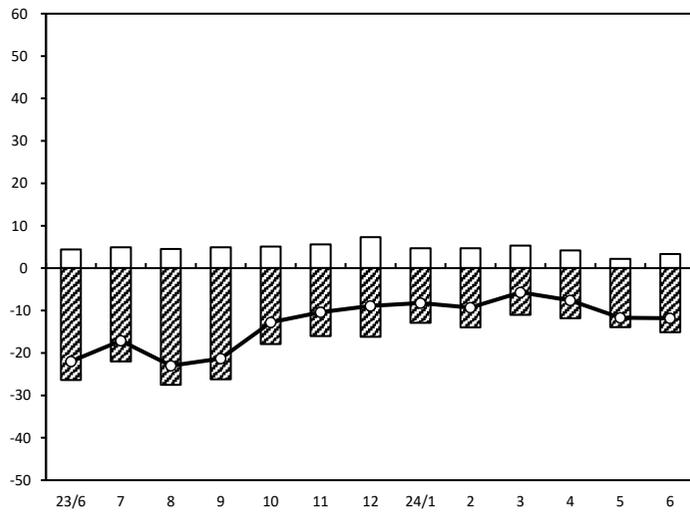
### 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/6	1.7	-16.8	-15.1
7	3.4	-12.8	-9.4
8	2.1	-15.1	-13.0
9	3.4	-15.9	-12.5
10	3.5	-12.6	-9.1
11	3.5	-12.2	-8.7
12	3.4	-11.5	-8.1
24/1	3.0	-9.7	-6.7
2	3.6	-8.8	-5.2
3	4.0	-8.8	-4.8
4	3.0	-8.3	-5.3
5	2.0	-9.3	-7.3
6	1.8	-8.6	-6.8

(年月)

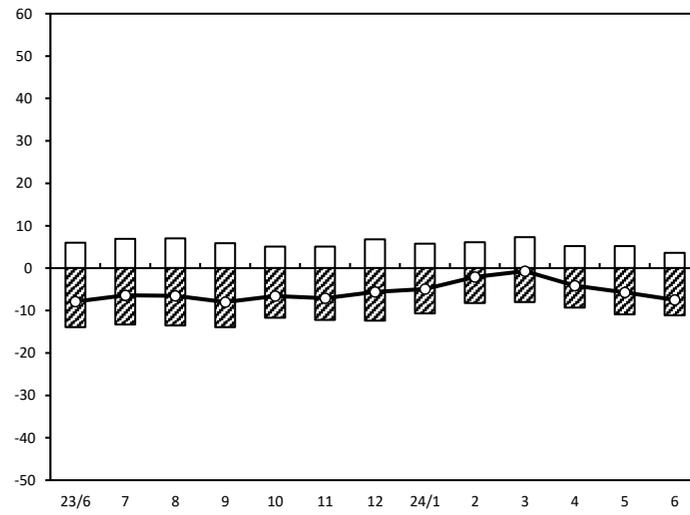
### 採算



年/月	増加	減少	DI
23/6	4.4	-26.4	-22.0
7	4.9	-22.0	-17.1
8	4.5	-27.5	-23.0
9	4.9	-26.2	-21.3
10	5.1	-17.9	-12.8
11	5.6	-16.0	-10.4
12	7.3	-16.2	-8.9
24/1	4.7	-12.9	-8.2
2	4.7	-14.0	-9.3
3	5.3	-11.0	-5.7
4	4.2	-11.8	-7.6
5	2.2	-13.9	-11.7
6	3.3	-15.1	-11.8

(年月)

### 業界の業況



年/月	増加	減少	DI
23/6	6.0	-13.9	-7.9
7	6.9	-13.3	-6.4
8	7.0	-13.5	-6.5
9	5.9	-13.9	-8.0
10	5.1	-11.7	-6.6
11	5.1	-12.2	-7.1
12	6.8	-12.4	-5.6
24/1	5.8	-10.7	-4.9
2	6.1	-8.2	-2.1
3	7.3	-8.0	-0.7
4	5.2	-9.3	-4.1
5	5.2	-10.9	-5.7
6	3.6	-11.1	-7.5

(年月)

## 小規模企業景気動向調査(6月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

全般的に、感触はいいようだが仕入れ高の上昇、原油高止まり、天候不順と言った不安はあるようだ。しかしながら、建設業、製造業を中心に比較的良い予想をしている。飲食業はこれからの観光シーズンにより期待している。業種にかかわらず人手不足はあるものの全般的にポジティブの様相。

(北海道小平町商工会)

物価高や人手不足は変わらず事業の課題であるが、補助金等を活用しながら前向きに対応している企業については、若い人材等がSNSやEC、システム導入等の現在のマーケティング手法を駆使し収支確保している。建設業、旅館業については業種柄、新卒より人気がなく人手不足に繋がっている。

(山形県南陽市商工会)

4・5月は未だ年度当初という事もあり、どの業種も動きが低調であったが、6月期に入り仕事量も増えつつあり景気全般は好転していると考えられる。

(栃木県うつのみや市商工会)

飲食店では客足が伸びており、消費が上向き傾向にある。一方で、新型コロナウイルスの感染者が点在しており、消費動向への影響が懸念される。

(新潟県小出商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

物流コストの上昇に加え、仕入に係る時間が長期化するなど、物流に関する問題が出てきている。物価高騰の影響も続き、価格転嫁が追いついていない事業所も多い。

(青森県五戸町商工会)

総じて仕入れ価格及びその他経費の増額が続いており、影響を受けている。まったく価格転嫁できてないというわけではないが、採算性の悪化も続いている。引き合いも減少している事業所が多く、景況感としては悪化傾向である。

(福島県鹿島商工会 センター)

全体を通じてコロナの影響は感じられなくなっているが、仕入価格やエネルギー高騰等により利益が圧迫されている。適切に価格転嫁を図れている業種も少なく、採算低下や資金繰り悪化を招いている。さらには、著しい人手不足により事業の継続が懸念される事業者も多く、生産性向上による事業収益の確保が喫緊の課題となっている。

(群馬県富士見商工会)

依然として売上の改善は見られるものの物価上昇により大きな影響を受けているという事業所からの声が多い。今後に向けても適正な価格転嫁に繋げていくことが重要であると思われる。また、人手不足についても問題点として挙げている事業者も多い。

(千葉県栄町商工会)

どの業種においても原材料・燃料価格高騰により経費が増加しているが、価格転嫁については業種間および同業種においても事業者間で大きな差がある。建設業や宿泊業は売上・利益ともやや増加しているが、消費者向けあるいは事業者向け補助制度による面もあり、業況が改善しているとは感じられない。

(新潟県妙高市商工会)

コロナ禍からの脱却に伴い、各業界ともお客様の流れを取り戻しつつある。しかし、仕入原価の高騰や人手不足等様々な要因もあり、依然厳しい状況は続いており、今後も改善の見込みは薄い。利益を確保することで、賃上げ等を行い従業員を確保することが求められる。

(三重県伊勢小俣町商工会)

国内外の経済情勢が複雑化する中、多くの企業は不確実性に直面している。輸出関連企業は円安の恩恵を受けつつも、原材料費の高騰が収益を圧迫している。一方、内需に依存する企業は消費者の購買意欲が回復傾向にあるものの、賃金の上昇がコスト増要因となっている。加えて、デジタル化や環境対応といった新たな課題も浮上している。全体として、企業は柔軟かつ迅速な対応が求められる状況である。景気の不透明感が続く中、持続可能な成長戦略を構築することが鍵になると考える。

(山口県美祢市商工会)

原材料や仕入れ価格の上昇が長期にわたり続いており、社会的な賃上げ対策も十分に進んでいない事もあり、全業種的に消費不振による景気の低迷が見られる。また、人手不足も業種に限らず深刻化している他、下請け業者は元請業者に対し価格交渉も十分にできていない事が見られる。小規模事業者にとっては、この状況が今後も続けば、多数の廃業等が生じる可能性もあるため、国や政府としても、早急にさらなる支援施策等を検討していただきたいと思います。

(福岡県岡垣町商工会)

観光客等の減少による売上減少が見られる。また人件費の上昇による利益の圧迫や人材確保が困難な事業所もある。金融機関の貸し出し態度にも、業況の厳しい見通しから若干貸し渋り等が見られる。

(鹿児島県あまみ商工会)

## 2. 製造業

### <改善傾向を示すコメント>

食料品製造業:仕入れ価格の上昇傾向が続いており、価格転嫁は進んでいるものの収益は圧迫されている。機械金属製造業:仕入れ価格の上昇傾向が続いており、価格転嫁は進んでいるものの収益は圧迫されている。

(東京都昭島市商工会)

食料品では、仕出し需要が好調で、土用の丑の日のうなぎ予約を受けられない状況。繊維工業では、受注状況は、改善してきているが、安価な他社製品に押されている状況が続いている。機械・金属では、6月下旬から受注量が増加してきている。

(鳥取県大山町商工会)

食料品製造業は、梅雨時期もあり観光客が減少しており売上も減少している。仕入単価上昇、人件費増大による経費増により、採算がやや悪化状況である。機械金属製造業は、大小問わず受注件数も増加しており好転傾向にある。しかし金属性資材の仕入単価も約2倍程度上昇(安価な時期との比較)している。人件費増大と人手不足への対応に苦慮していますが、業界の業況としては好転状況であると思われる。

(鹿児島県知名町商工会)

Tシャツなど製造加工販売をおこなっており、国内外の観光客数の増加に伴い、売り上げは好調である。また、人材不足により雇用問題を抱えている現状があり、外注による生産体制を図ることで売上の安定を維持している状況がある。

(沖縄県北中城村商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

売上高が増加している企業があるものの、エネルギー価格高騰の影響が大きく収益は横ばい。

(宮城県東松島市商工会)

製造業は、世界的な経済情勢やエネルギー価格の高騰など、近年様々な課題に直面しています。中でも、光熱費の高騰は深刻な問題となっており、生産コストの増加や収益悪化を招き、事業存続の危機に直面する企業も少なくない。

(茨城県稲敷市商工会)

食品製造業は製造業の中でも原材料等価格の変動によって景気動向が大きく左右されるため、仕入単価上昇によって売上額・採算性が厳しく、直接的に影響を与えている。

(東京都清瀬商工会)

コロナの際に資材が入りづらい状況が続いたことで、資材の購入や仕入の量を各企業増やしていた。そして今、資材等は通常通り仕入れられるようになり各企業在庫が余るようになり、現在各企業仕入の量を調整している状況である。そのことが影響し受注が減り売上に大きく影響している。

(岐阜県恵那市恵南商工会)

飲食業:ランチタイムの集客は戻りつつあるがデイナータイムは予約以外の集客が見込めない。さらに物価高騰により利益率が悪化している。自動車部品縫製:仕事にムラがあり、安定した仕事ができない状況。単価交渉もできず、20年位同じ金額で依頼されているが断れない。二輪部品製造業:製造業界全般に言えるが、原材料の高騰は歯止めが無いため、経営は苦しい状況が続いている。行政はそういった声を聞いた上で、対策を講じてほしい。

(静岡県天竜商工会)

繊維関係では、国内工場の減少に伴い仕事はあるものの昔からの業界慣行から加工単価の引き上げが難しく、物価高騰の影響により利益を圧迫している。また物価高の影響に加え、従業員の高齢化が進むところでは今後さらなる最低賃金の引き上げは非常に苦しいとの声もある。

(兵庫県丹波市商工会)

人手不足である。最低賃金が10月から上がると予想されている。人の確保が難しい中、ほかの求人と差別化して人材を確保するには、企業は最低賃金に上乘せした額を提示することが求められ、さらに従業員の確保が難しくなってくる。

(徳島県阿波市商工会)

食料品製造業は原材料価格高騰のため仕入単価が上昇。それに伴う価格転嫁のため売上額も上がっている。仕入単価分に対する価格転嫁は行っているが、販管費の経費の上昇分に関して未着手のところがある。特に電気料金の価格上昇が厳しい様子。機械金属製造業は昨年、ウクライナ戦争の影響などで受注はあっても部品が届かないことで売上が立たないことがあった。今年も部品の流通に関して影響はあるもの昨年程ではなく、業況は回復傾向である。

(佐賀県佐賀市南商工会)

材料費や水道光熱費の高騰による影響が大きく、利益を圧迫している。価格転嫁を検討している事業者も多い。省力化や生産性向上で設備導入を検討している事業者もいるが、設備自体も価格が上がっているため、頭を悩ませている。補助金や金融施策など設備導入を支援する制度を希望する声もある。

(長崎県諫早市商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

建設関連の事業者は、公共工事の受注等で売上は増加傾向。資材高騰分も受注価格にオンしており、採算もまずまず。業界同業との情報交換においては、光熱費、人件費高騰、完全週休2日の徹底、人手不足等の要因でいまち振るわないとの声が多い。

(秋田県かづの商工会)

建設業については物価高騰について顧客が理解を示しており、材料費等については見積書に反映することができている。

(埼玉県東松山市商工会)

災害対応のインフラ等の修繕工事は一段落している。今後は公費解体工事が多くなってくることが予測される。引き続き、復旧復興需要が続くと思われる。

(石川県門前町商工会)

電気配線工事は太陽光発電システムの設置や撤去などの工事が増えている事業者もある。新たな建築資材の販売を開始した事業者では売り上げが増加している。

(香川県高松市中央商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

売上額は増加しているものの、採算・資金繰りについては不変。従業員不足のため、同業より職人の貸し借りをしている企業もある。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

公共事業の発注なども出てきており、徐々にではあるが受注が回復してきた。しかし、民間工事に関しては物価高騰により受注数に伸び悩みをみせている。特に一般消費者からの建築受注に影響が出てきている。物価高騰による建築資材高騰に伴うコスト増加が大きな要因として挙げられる。

(福島県会津美里町商工会)

造園工事業は、建築工事の受注が少なく低迷していることもあり、外構工事を含めた造園工事全体で低迷している。但し、庭の剪定については、個人顧客を中心に一定数の需要がある。

(茨城県八千代町商工会)

受注は増えてきているが、対応出来る職人が不足しており、請け負えない状況。

(埼玉県八潮市商工会)

能登半島地震による復旧対応が増加している。小規模な事業者では復旧対応により既存の現場が後回しになってしまうケースが発生している。慢性的な人員不足のなか、労働基準法改正の猶予期間が終了し、人員配置に苦慮する姿がうかがえる。

(石川県鶴来商工会)

土木工事業では、県・市の公共工事の発注件数が例年より少ない状況であり、民間工事を何とか受注して売上確保をしている事業者が多い。

(岐阜県高山北商工会)

建築業においては、人手不足や、サプライチェーンにおけるモノの流れが全般的に遅くなっており、現場の工程が後ろ倒しになり工事が全体的に遅延傾向にあるため、業況が停滞し悪化している。

(愛知県飛島村商工会)

売上自体は安定している事業所が多い。一方で、原材料費及び人件費の値上がりに苦慮している。また担い手不足が深刻化している一方で、技術を確立している事業者については需要が増し、取引先も広がりを見せている。

(岡山県岡山北商工会)

人材確保に向けて賃上げを行っている企業も見受けられるが、業界全体が人手不足であり厳しい状況が続いている。

(広島県五日市商工会)

この時期は公共工事等の発注が出ない。民間からの受注も原材料高騰で工事価格が上昇しており売上が減少傾向にある。

(福岡県みやま市商工会)

建設業については、資材等の仕入値が異常高騰していることから、業況としてはあまり良い状況ではない。また、建設業は各社にばらつきが大きく、大規模な事業を受注できている事業者がいる一方で、そのような事業の受注が出来ず、仕入値の高騰が追い打ちをかけている状況の事業者も見られる。

(長崎県西そのぎ商工会)

慢性的な人手不足である。DXや生産性向上等の取り組みも必要だと感じるが、目先の人員確保に四苦八苦している。建設業に関連する業種(土地家屋調査士等)も、同じく引き合いが多く、管内以外からの発注も多い。仕事はあるが、納期等に間に合うほどの人員を確保出来ず、受注の機会を失うことも多々ある。

(鹿児島県屋久島町商工会 安房支所)

## 4. 小売業

### <改善傾向を示すコメント>

食料品小売業関連の事業者は、物価高騰のため、一部仕入価格の上昇するものがあるものの総体的に悪化傾向とはなっていない。

(北海道新ひだか町商工会)

小売業全般では、仕入単価の上昇分を販売価格に転嫁しつつあり、顧客からも値上げに理解を得られ、採算、資金繰りは不変である。

(千葉県白子町商工会)

まつり等のイベントに係る衣装の受注が増え、売上が増加した。商品の仕入単価が上がっているが、お客様に対し丁寧に説明したところ納得していただいた。価格転嫁もできている。

(新潟県巻商工会)

耐久消費財関係(家電小売)は電気代高騰の影響か、消費者省エネ機器への更新が進んでいる。住宅省エネ補助金2024も後押しし給湯器更新等の需要が増加している。

(島根県石中央商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

依然として、物価高騰の影響が続いている影響で、節約志向が続いている。天候不順の影響で衣料品の動きも鈍い。

(秋田県北秋田市商工会)

イベントの再開による客足の増加に係る売上が伸びてきているが、物価高騰による仕入れ及び経費支出増による価格転嫁がなされておらず、採算が取れていないのが現状である。

(茨城県利根町商工会)

【衣料品】夏物衣料品の販売が好調に推移も、原材料価格の高騰の影響で、消費者の購買意欲は低迷している。【食料品】食品価格は高止まりしているが、生活必需品であるため、販売は堅調。

(栃木県壬生町商工会)

食品小売業では、原材料価格の値上げにより、小売価格を値上げて対応する店舗も多いが、大幅な値上げは顧客の購買機会を減少させることとなり、値上げ幅に苦慮している。

(群馬県みどり市商工会)

家電小売業・工事業において、工事等は高齢化に伴いお断りすることが多く、その際の紹介先も大型家電量販店になり、小規模な店舗が大型店に顧客を紹介するという難しい状況となっており、事業の縮小も現実的になっている。

(東京都日の出町商工会)

いずれも物価高の影響を受け仕入単価は上昇傾向。対して価格転嫁や販売数量の増加は難しく、減収につながっている。衣料品は梅雨明け前から気温が高い日が多く、夏物の売れ行きが堅調。当町では6月の1か月間、ポイントカード会が行政の支援を受けて「ポイント5倍セール」を実施できたため、耐久消費財など単価が高額な商品を扱う業者の売上増加が見られた。ただし「消費の先食い」の可能性もあると予想している。

(石川県宝達志水町商工会)

【衣料品】相変わらず人口の減少、消費低迷の動きは止まらず低調に推移。【食料品】売上は前年より減少傾向。利益確保は厳しい状態の中、どうにか利益を確保している模様。一方、町外からの来訪客は増加【耐久消費財】前年同月比変動なしだが厳しい状況は変わらない。町の方で消費喚起策を出しているが一定の効果はみられるがそれを+αにしていこうとする事業者は少ない。

(静岡県川根本町商工会)

衣料品においては、高温の影響で夏物が例年より早く売れており、好調で推移している。肌触りの良い衣類の売れ行きが良い。食料品においては、実質賃金のマイナスが続いているという報道の通り、消費者の買い控えが顕著である。定額減税も客単価増加に好影響はない印象を受けており、価格転嫁とは別の問題に悩まされている。耐久消費財のうち車両販売においては、認証不正問題での生産減少や物価高による個人消費の落ち込みから、改善が進まず横ばい状態。家具においても物価高の影響は大きく、需要の回復に向けた改善にはまだ遠い。

(鳥取県鳥取市西商工会)

食品小売業者において、食品ごとの値動きの差が大きく仕入れの調整に苦慮している。大手食品スーパー・量販店との販売価格差も広がり、以前にも増して小規模小売店は苦しい状況にある。夏季に入り、エアコン・冷蔵庫の電気料金もあがり、益々利益が確保しづらくなった。

(岡山県真庭商工会)

食料品関連の事業者においては、円安の影響などにより仕入単価の上昇が止まらず、さらに天候不順の影響で野菜などの仕入価格も安定していない。それにより、販売価格への転嫁や安定的な商品確保が難しくなっており、その結果、利益率が悪化している。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

食料品小売業関連の事業者は、売上額はあまりかわらないものの、仕入れ単価が上昇しているために採算が悪化している状況となっている。その影響のために、資金繰りも悪化している。

(沖縄県うるま市商工会 石川支所)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

物価高により仕入単価は上昇しているが、売上も上昇しており、営業利益はほぼ不変。経費削減により利益を生み出している。

(秋田県よこて市商工会)

観光業にとっては6月は閑散期となるが昨年比増となっており、アジア系を中心に外国人観光客の姿も見かける。しかし、客単価は減少傾向。空き家をリノベーションしてゲストハウス等にリノベーションしたい、といった不動産取引の引き合いがみられる。過疎化により空き家も多く、それらのニーズと物件の条件が合えば取引が進む見込みもある。

(静岡県沼津市商工会)

宿泊業に関しては、インバウンド需要や円安の影響により海外からの宿泊客が増え、売上は伸びている。

(福岡県若宮商工会)

業界としてはポジティブな見込みである。一つ懸念は人手不足による機会損失である。

(沖縄県本部町商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

旅館…人手不足の問題が依然として続いており、宿泊客の受け入れはキャパシティを落とし営業をしている。燃料費の高騰や浴室に使う薬剤、仕入食材の値上がりの影響もあり経営状況は厳しい。洗濯…当月は売上回復傾向にある。理由としては昨年と比べ、新型コロナ感染が一段落したこともあり、外出用の洋服や絨毯などを持って来る来店客増加しつつある。原油価格高騰による資材等は軒並み上昇。理・美容…新規顧客獲得よりも固定客の継続利用を重視し営業している。同地区では同業者の高齢化が進んでおり数年後には廃業も増えてくるのではないかと感じている。また物価高騰の影響が経営に少なからず営業を及ぼしている。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)

観光地の宿泊業は回復の傾向が見られるものの、エネルギーコストや物価高騰により採算は悪化傾向。洗濯業は、天候の不安定によるものなのか、ホームクリーニングおよびリネンサプライとコインランドリーも売上減少傾向。

(群馬県嬬恋村商工会)

新規開業した民泊等により地域内宿泊業の競争は活性化しているが、能登半島地震で被災した老舗旅館は客室稼働率が大幅に減少しており、夏季シーズンの観光客受入れに不安が残る状態である。

(新潟県両津商工会)

人の動きも活発化しておりモノやサービスも循環する流れが強くなってきたと感じる。クリーニング業界(特にドライクリーニング)は燃料代を筆頭にビニールやハンガー、石油系溶剤等石油関連のものが軒並み高騰しているため採算が悪化している

(長野県小布施町商工会)

天候や物価高により客入りは減少。旅館業務の減少に加え、一般衣類については ホームクリーニングできる洋品が増えてきているため、売上が伸び悩み。髪を切るお客様は増えているが、値の張るカラーやパーマは伸び悩み。

(静岡県伊豆市商工会)

旅館業は、食材等の仕入れが高騰しており、2食付きプランの利益率が低下している。平日の稼働率があがらない状況であり、ぎりぎりまで予約が入りづらく売上の予測がつかない。洗濯業は、取引先との関係は堅調である。燃料費、商材の値上がりは顕著である。新規客は少なく、既存の顧客がメインであり、価格転嫁も行い一定の理解も得ている。理・美容業は、商材の値上がりはあるが、カット客がメインであり、大きな影響はない。既存顧客の高齢化が顕著であり、後継者への引継ぎへむけた新規顧客の獲得が急務と感じている

(鳥取県北栄町商工会)

旅館やホテルにおいて、6月はこれまでGotoトラベル事業や、全国旅行支援などの観光施策が実施されていたが、今年の6月は該当する観光施策がなかったことも影響し、昨年よりも売上が減少したとの声もあった。また、労働力不足の解消のために、すき間時間で働いてもらうタイミーの活用や、県が運営する就職マッチングサイトに登録し、移住支援金制度を活用しながら新規従業員を採用されるケースも増えている。

(佐賀県唐津上場商工会 経営支援センター)

個人客の宿泊は少なく、業者の宿泊予約が9月までは入っているがそれ以降は未定。宿泊だけでなく、弁当も販売しているが、物価高騰の影響がありやや資金繰りが厳しい

(長崎県対馬市商工会)

材料の値上がりが続いており価格転嫁をしても追いつかない。また価格転嫁により、安いチェーン事業店へ顧客の流出が懸念され、躊躇してしまう。

(熊本県氷川町商工会)